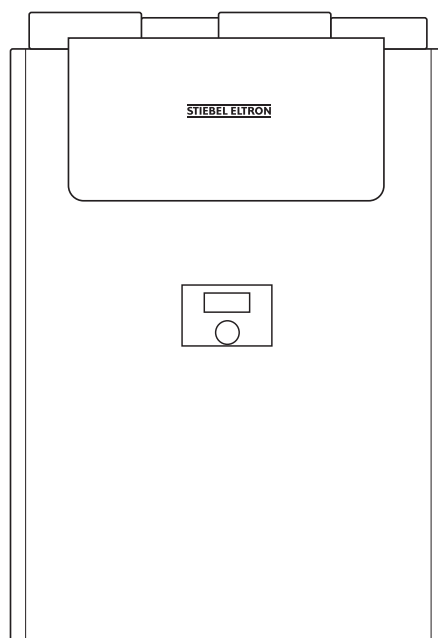


STIEBEL ELTRON

熱交換換気システム 取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 名…… ●LWZ-280
●LWZ-280JE



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP.1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 特長	3
3. 各部のなまえ	4
3-1. 機器外形寸法	4
3-2. コントローラの表示内容	5
4. ご使用方法	7
4-1. 運転状態の選択	7
4-2. 運転スケジュールの設定	9
4-3. チャイルドロックモード	12
4-4. ディスプレイの設定の変更	13
4-5. サブ表示の設定	14
5. 日常の点検とお手入れ	15
5-1. フィルター清掃と交換	15
5-2. 住宅内の給排気グリル、屋外フードの清掃	16
5-3. 専門業者による定期清掃	16
6. 故障かな？と思ったら	17
7. 点検および修理について	18
8. 仕様	19
9. パラメーター設定モード一覧	20
9-1. パラメーター一覧	20
9-2. 運転状態一覧	20

取付説明書

安全上のご注意	22
2. 各部のなまえと外形寸法	25
2-1. 機器の各部のなまえ	25
2-2. コントローラの各部のなまえ	26
2-3. 付属部品	26
3. 機器の設置	27
3-1. 機器の固定	27
3-2. ダクト配管	28
3-3. ドレン配管 (LWZ-280のみ)	29
4. 電気配線	30
5. 設定変更	31
5-1. 施工者用設定モードの変更方法	31
5-2. 各パラメーターの変更方法	31
5-3. 施工者用設定モードのパラメーター一覧	32
5-4. 施工者用設定モードの運転状態一覧	34
5-5. エラーコード一覧	34
6. 試運転	36
保証書	37

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	-------------------------------------	---	--------------------------------------

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。



警告



禁止



絶対に改造はしないでください。



濡れた手でコントローラを操作や、機器のフィルター交換をしないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



可燃性のガスが漏れた場合は、機器を操作しないでください。



機器本体の近くや、お部屋の給排気口近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管しないでください。



機器は、お手入れ中以外は停止しないでください。(除湿運転による停止を除く。)



指示



機器に異常が発生した場合は、機器専用のブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。



機器の移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。



機器が、正しく取り付けられ、機器がしっかりと固定されていることを確かめてください。



補強を行なっていても震災、その他の天変地異で落下する可能性があります。万が一落下した場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

① 機器専用のブレーカを「切」(OFF) にしてください。

② 落下物がある場合は取り除いてください。

③ 建物が揺れている間は機器に近づかないでください。



子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意

禁止



機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。



ファンモーターが故障し動いていない場合は、そのまま使用しないでください。



ドレン配管が詰まる、または接続されていない状態では使用しないでください。
(LWZ-280のみ)



機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。

	前面パネル	天板パネル	左面パネル	右面パネル	下面パネル
離隔距離	700mm以上	400mm以上	50mm以上	50mm以上	400mm以上

注意



フィルターの点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。



機器運転中は、フィルターカセットを必ず機器に固定した状態にしてください。



夏場にエアコンの設定温度を下げ過ぎると、機器からの水漏れが発生する可能性があります。

指示



フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。



フィルターの点検清掃をする場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。



フィルターを機器に戻す際は、フィルターの配置を間違えないようにしてください。



ドレン配管が詰まると、漏水の原因となりますので定期的に掃除してください。
(LWZ-280のみ)



ドレン配管を点検清掃する場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。
(LWZ-280のみ)



設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。



外気条件と機器設置場所の露点温度によっては、ダクトや機器表面が結露する場合があります。
その際は結露水を拭き取ってください。



台風や強い雨、及び吹雪、霧が発生した場合等、外気が高湿度の場合は、機器内部で水滴が発生して
滴下することがありますので、運転を一時的に停止してください。



機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。



機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

2. 特長

LWZ-280、及びLWZ-280JE（本書では「機器」と表記）は、給気と排気の2つの送風機（EC遠心ファン）を利用して、屋外の新鮮な空気を屋内に取り入れ、屋内の汚れた空気を排出します。その際、排出する空気から高効率で熱回収を行ない、屋外から取り入れる新鮮な空気に回収した熱を効率よく加えます。これにより、暖冷房負荷の削減に寄与できる換気システムです。

操作は、機器前面のコントローラで行ないます。5m³/h単位できめ細かく設定風量を変更できるため、換気による無駄なエネルギーロスをカットすることができます。

●バイパスモード

屋内外の温度差が小さい場合や、外気冷房条件時にバイパス運転（外気を熱交換しないで直接、屋内に給気）することで省エネ効果を高めることができます。

●プレヒーター

寒冷地において、厳冬期でも新鮮空気を加熱することで換気量を維持すると共に高い熱交換効率を維持することができます。

●プログラム運転

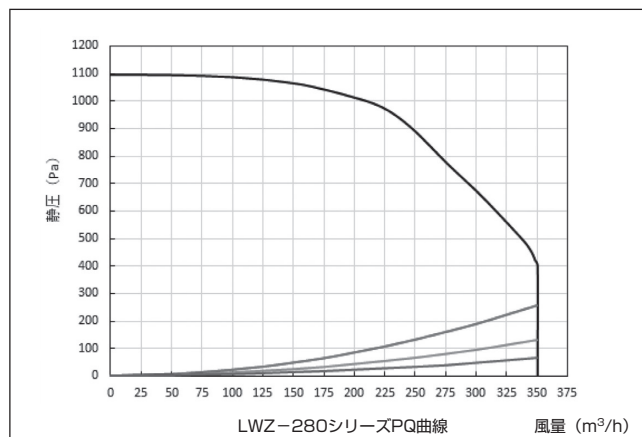
在宅する予定に基づき、換気風量を自動的に切り替えることで快適性を維持したままで、省エネすることができます。

●LWZ-280顕熱交換型換気システム

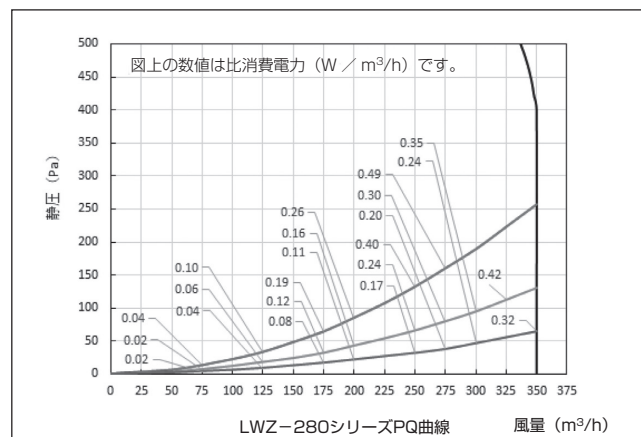
室内で発生した臭気や、湿気等が新鮮な外気と交わらないシステムです。
湿気の多い場所も機器1台で換気可能になります。

●LWZ-280JE全熱交換型換気システム

住宅内の湿気に含まれる熱も熱回収する高効率システムです。
住宅内の湿度維持にも貢献します。



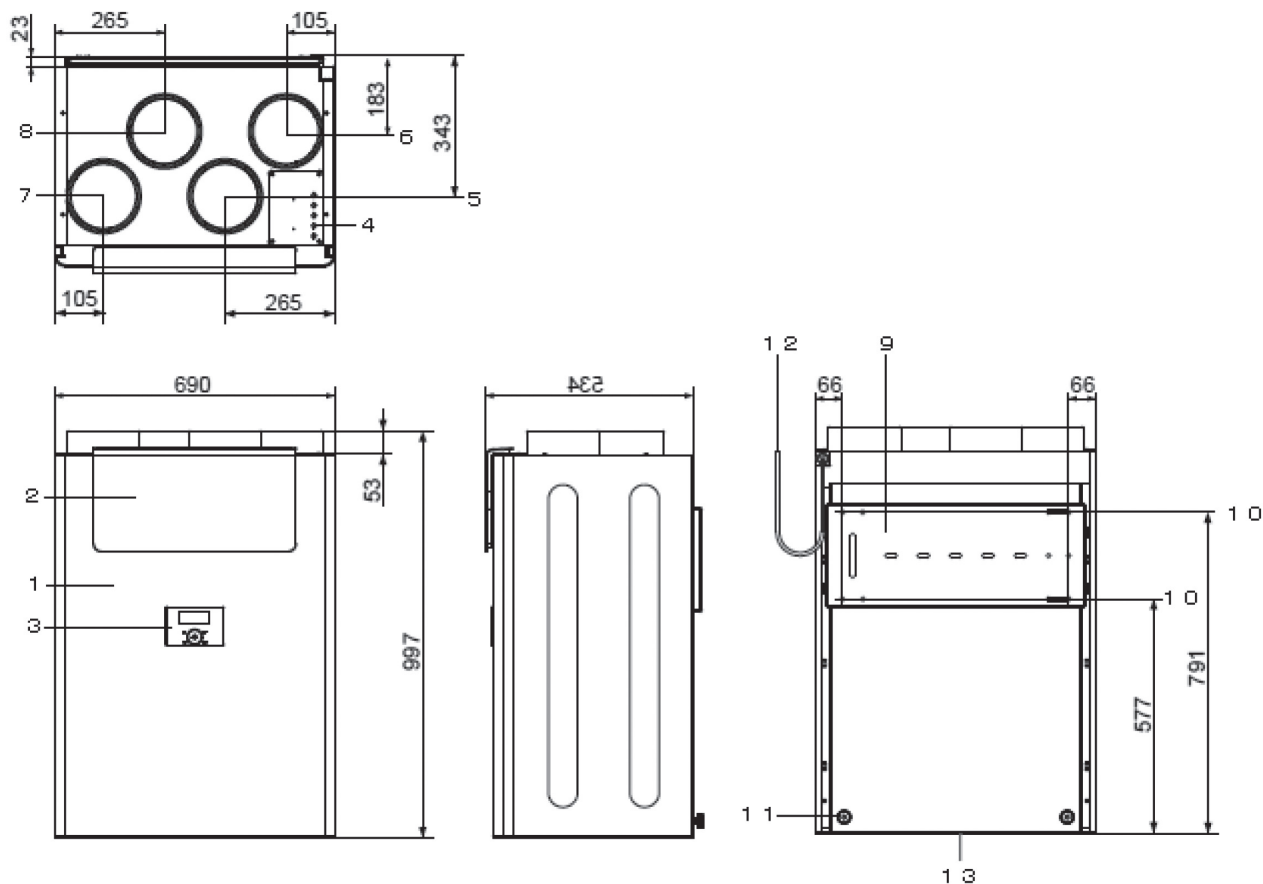
拡大図



詳細図

3. 各部のなまえ

3-1. 機器外形寸法



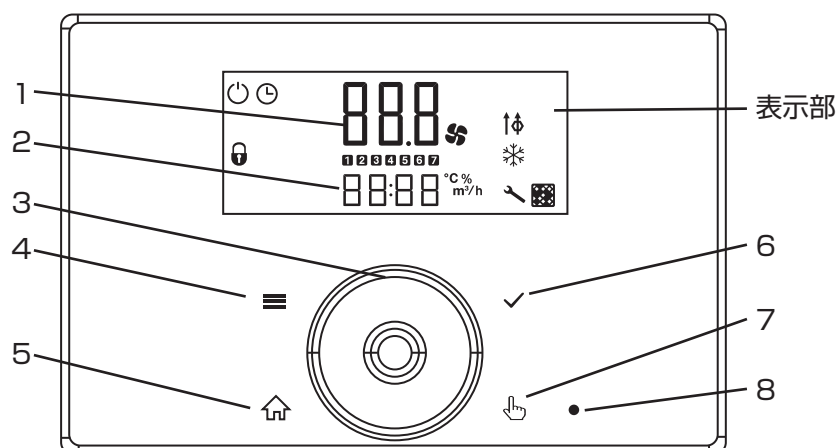
- 1 : 機器
- 2 : フィルタードア
- 3 : コントローラ
- 4 : 制御電源ケーブル引き込み口
- 5 : 外気接続口 (OA)

- 6 : 排気接続口 (EA)
- 7 : 給気接続口 (SA)
- 8 : 還気接続口 (RA)
- 9 : 固定金具

- 10 : 壁固定位置
- 11 : 下部スペーサー
- 12 : 電源ケーブル
- 13 : ドレン接続口

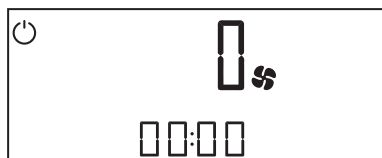
3-2. コントローラの表示内容

3-2-1. コントローラの表示



番号	名 称	機 能
1	メイン表示	運転状態等を表示します。
2	サブ表示	時刻／設定温度／室内温度／室内湿度等を任意で表示します。
3	ホイールダイヤル	選択した項目の数値を増減します。
4	MENUボタン	設定変更画面に移行します。
5	ホームボタン	運転状態の表示に戻ります。
6	OKボタン	設定の確定等を行ないます。
7	パーティーモードボタン	約3秒間長押しで、設定した時間、パーティーモードで運転します。
8	パーティーモードランプ	パーティーモードの間、点灯します。

3-2-2. 運転状態の表示詳細



除湿運転：

最低限の換気量で運転し、設定湿度以下になると換気を停止します。



弱運転：

通常運転より少ない換気量で運転します。



プログラム運転：(上図は、通常運転時)

運転スケジュールに従い運転状態を自動変更します。



通常運転：

標準的な換気量で運転します。



パーティーモード：

所定の時間、最大風量で運転します。

3-2-3. ディスプレイ表示詳細

アイコン	アイコン名称	表示内容
	除湿運転	設定湿度以下の場合、機器が停止します。 設定湿度以上の場合、設定風量「0」で運転します。
	プログラム運転	現在時刻設定中、またはプログラム運転中に点灯します。
	ファン	ファンモーター動作中に点灯します。
	未使用	_____
	チャイルドロックモード	点灯中は、コントローラでの操作は無効になります。
	フィルター清掃	フィルターの清掃が必要になると点灯します。
	プレヒーター	プレヒーターが動作中に点灯します。
	エラー表示	点灯時：軽度なエラーが発生しています。 点滅時：重度なエラーが発生しています。
	曜日表示	月曜日を示しています。
	曜日表示	火曜日を示しています。
	曜日表示	水曜日を示しています。
	曜日表示	木曜日を示しています。
	曜日表示	金曜日を示しています。
	曜日表示	土曜日を示しています。
	曜日表示	日曜日を示しています。
	温度表示	室内温度、外気温度、P1 の設定室温、排気の露点温度等を表示しています。
	湿度表示	室内湿度を表示しています。
	風量表示	風量を表示しています。

4. ご使用方法

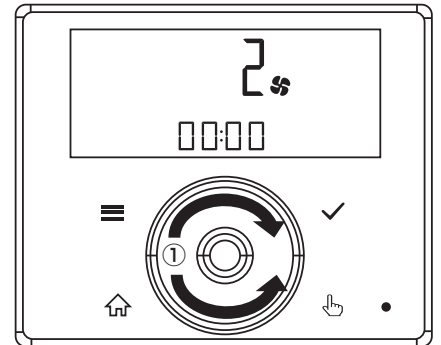
○「ホームボタン」を押すと、運転状態の表示に戻ります。

4-1. 運転状態の選択

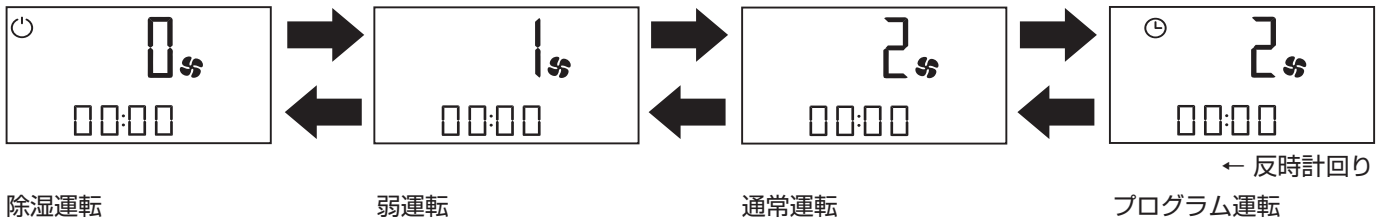
4-1-1. 通常運転

標準的な換気量で運転します。

- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、通常運転の表示を点灯させます。



時計回り →

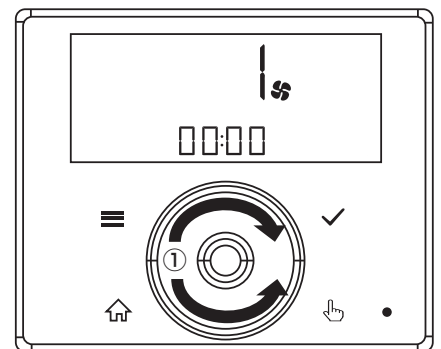


4-1-2. 弱運転

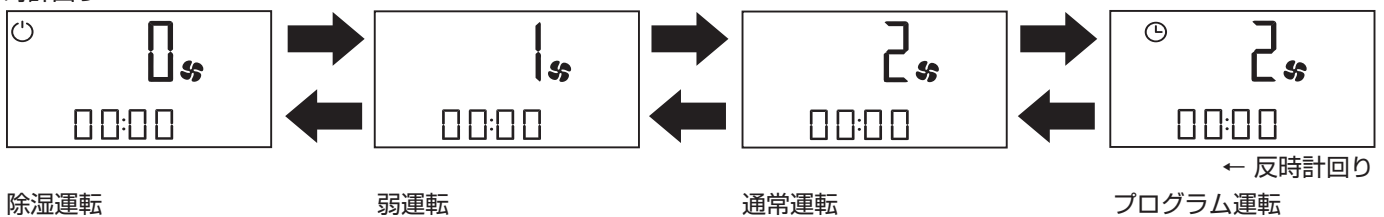
通常運転より少ない換気量で運転します。

就寝時や、不在時等に適した運転です。

- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、弱運転の表示を点灯させます。



時計回り →

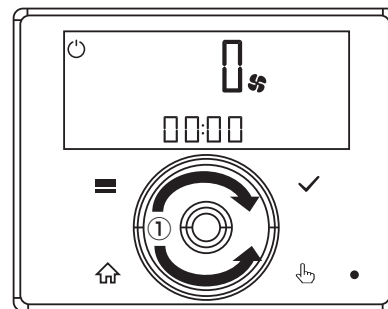


4-1-3. 除湿運転

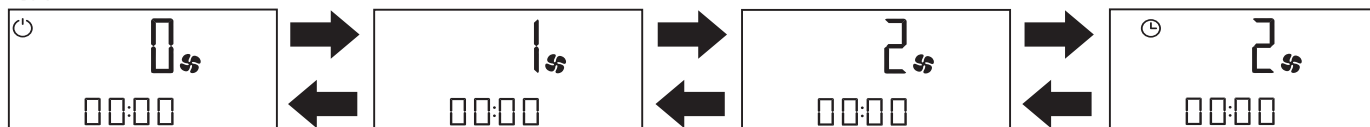
設定湿度以上の場合は、一定時間停止後に最低限の換気量で運転します。

設定湿度未満の場合は、運転を停止します。

- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、除湿運転の表示を点灯させます。



時計回り →



除湿運転

弱運転

通常運転

← 反時計回り
プログラム運転

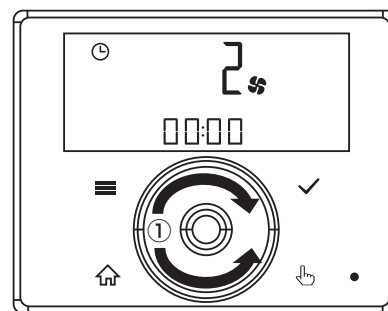
4-1-4. プログラム運転

最大21種類の運転スケジュールに従って、運転状態を自動変更します。

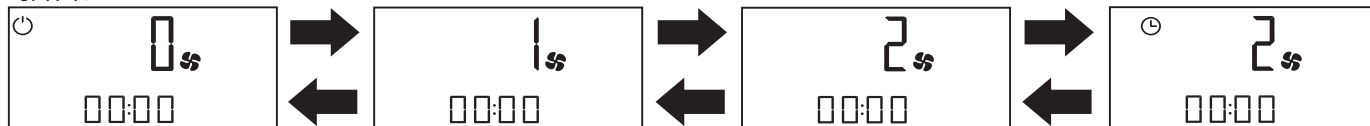
- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、プログラム運転の表示を点灯させます。



- プログラム運転の運転スケジュールの設定は、P. 11「4-3-3項」を参照ください。



時計回り →



除湿運転

弱運転

通常運転

← 反時計回り
プログラム運転



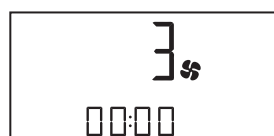
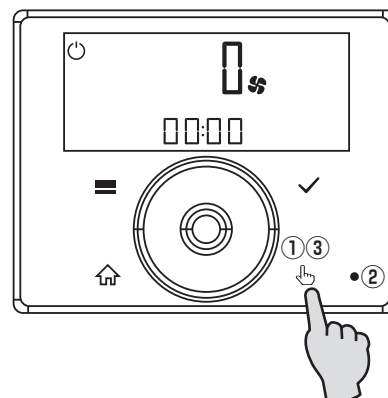
- 運転スケジュールの設定が行なわれていない場合は、通常運転になります。

4-1-5. パーティーモード

所定の時間、最大風量で換気します。

(1) パーティーモードの開始と停止

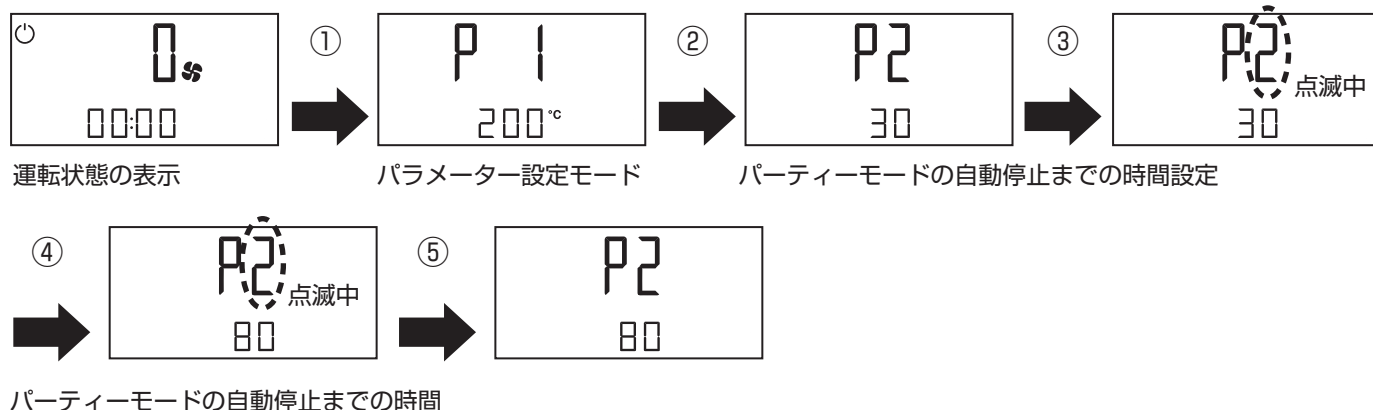
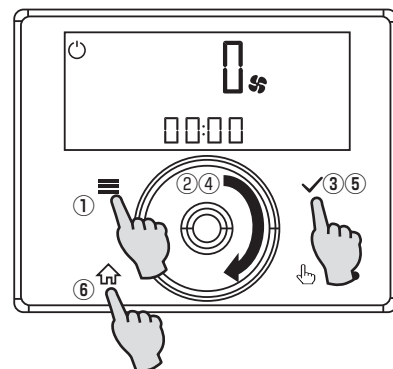
- ①「パーティーモードボタン」を2秒間押します。
- ②「パーティーモードランプ」が点灯し、表示部の表示が変わります。所定の時間、大風量で換気後、元の運転状態に戻ります。
- ③途中でパーティーモードを止めたい場合は、再度、「パーティーモードボタン」を2秒間押します。



パーティーモード中の表示部の表示

(2) パーティーモードの自動停止までの時間の設定

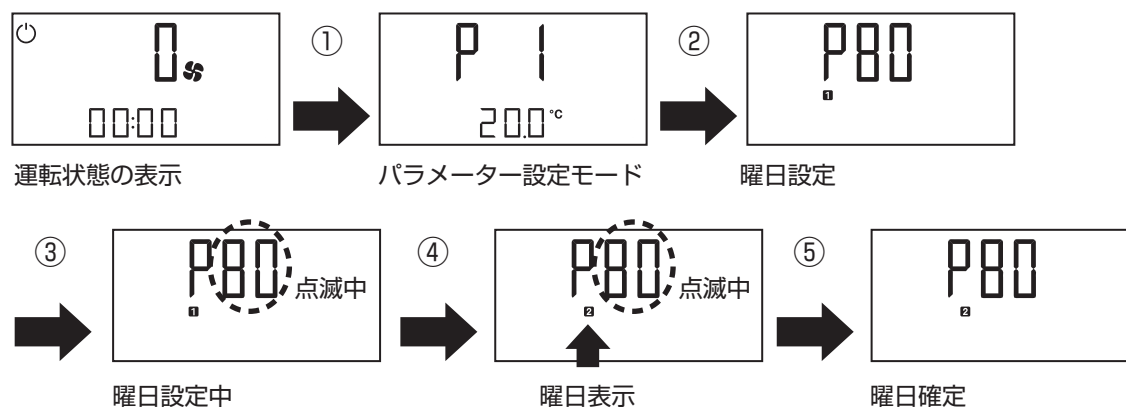
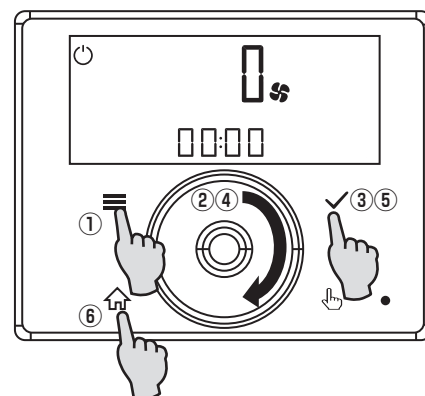
- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を時計回りに回して、「P2」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して「2」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、パーティーモードの自動停止までの時間を1～240分で設定します。
- ⑤「OKボタン」を押して時間を確定させ、「2」の点滅を終了させます。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



4-2. 運転スケジュールの設定

4-2-1. 現在の曜日の設定

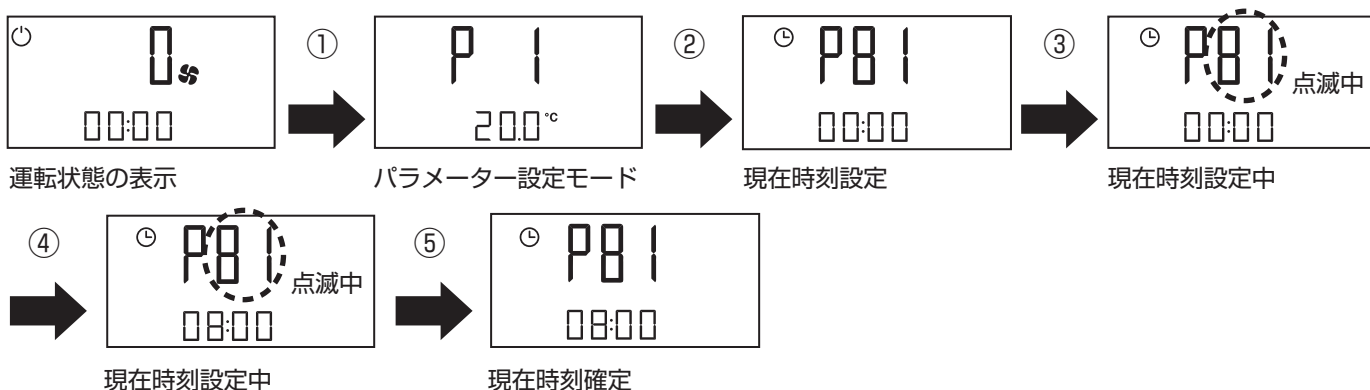
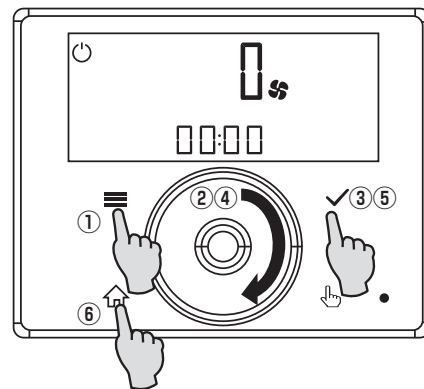
- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を時計回りに回して、「P80」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「80」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、現在の曜日を1～7で選択します。
- ⑤「OKボタン」を押して「80」を点灯させ、変更した曜日を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



数値	曜日
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日

4-2-2. 現在時刻の設定

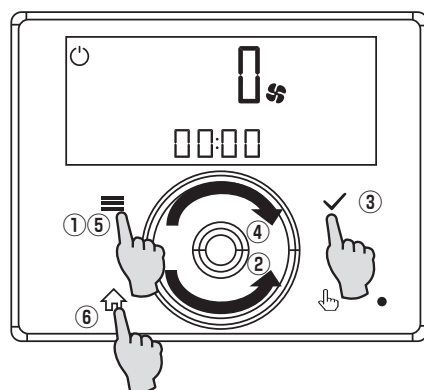
- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を時計回りに回して、「P81」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「81」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して現在時刻を変更します。
- ⑤「OKボタン」を押して「81」を点灯させ、変更した現在時刻を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



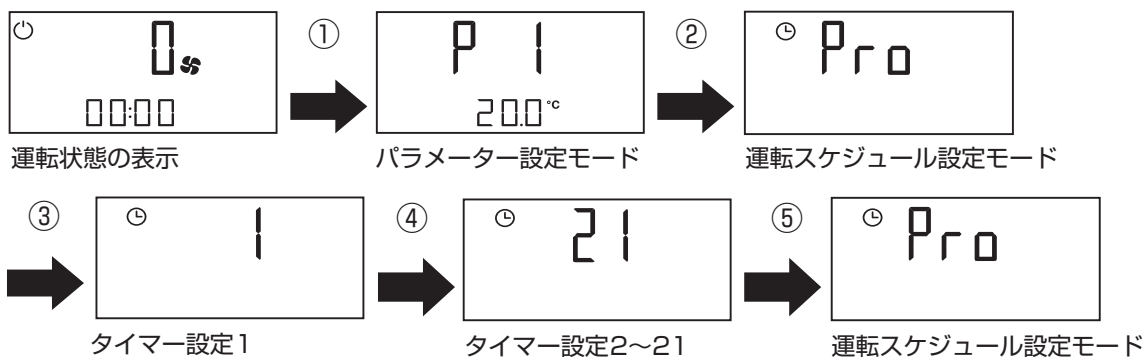
4-2-3. 運転スケジュールの設定

(1) 運転スケジュールの選択

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を反時計回りに回して、「Pro」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「1」を点灯させます。
- ④「ホイールダイヤル」を時計回りに回して「1～21」の運転スケジュールを選択し(2)(3)(4)で運転条件の設定を行ないます。
- ⑤「MENUボタン」を押すと一つ前の画面に戻ります。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



運転スケジュールの設定内訳



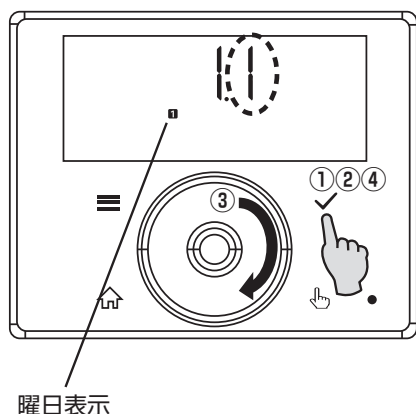
設 定	1～21.1	1～21.2	1～21.3	1～21.4
項 目	曜日	運転状態	開始時間	終了時間



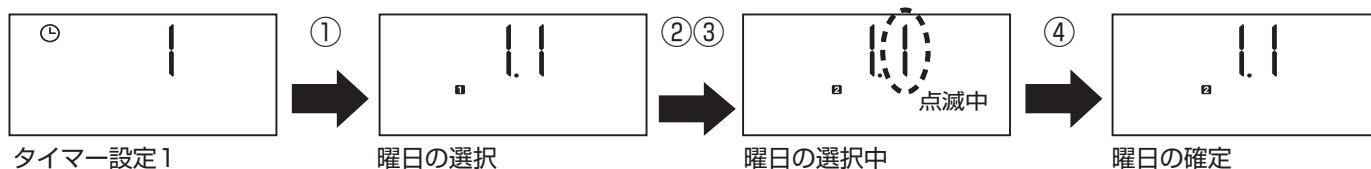
- 運転スケジュールで設定されていない時間帯は、通常運転で運転されます。

(2) 曜日の選択

- ① (1) で選択したタイマー設定 (1～21) の状態で「OKボタン」を押し、「X. 1」(Xは1～21の値) を表示させます。
- ②「X. 1」表示での状態で「OKボタン」を押して、小数点第1の位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、運転スケジュールを設定する曜日を選択します。
- ④「OKボタン」を押して確定して、少数第1位の値の点滅を終了させます。

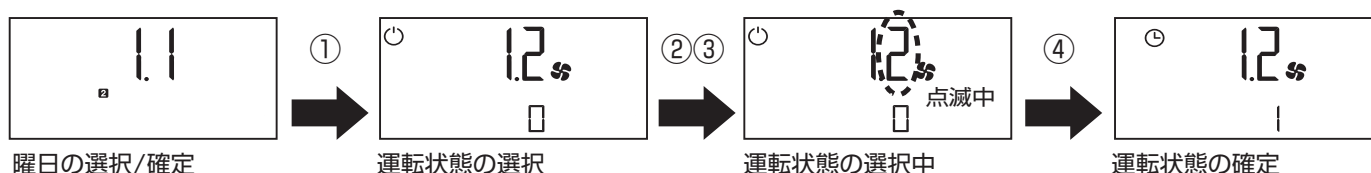
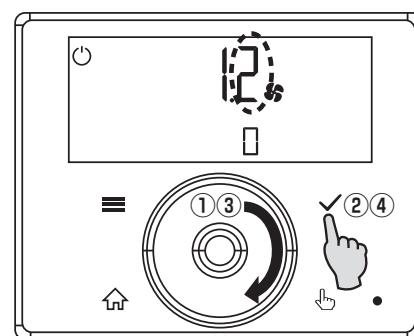


曜日表示	項 目
1	月曜日の風量を変更する時間を設定。
2	火曜日の風量を変更する時間を設定。
3	水曜日の風量を変更する時間を設定。
4	木曜日の風量を変更する時間を設定。
5	金曜日の風量を変更する時間を設定。
6	土曜日の風量を変更する時間を設定。
7	日曜日の風量を変更する時間を設定。
1 2 3 4 5 6 7	毎日の風量を変更する時間を設定。
1 2 3 4 5	月～金曜日の風量を変更する時間を設定。
6 7	土、日曜日の風量を変更する時間を設定。



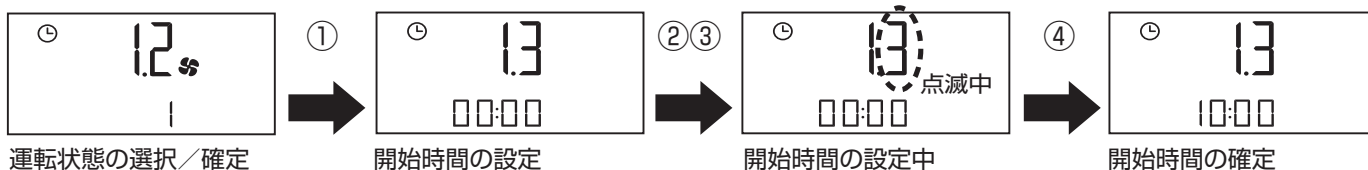
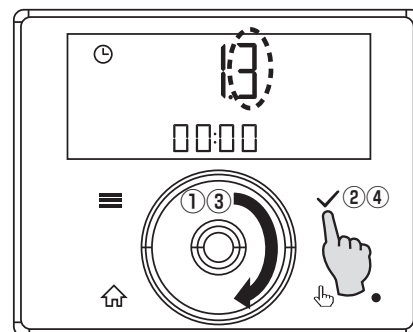
(3) 運転状態の選択

- ① (2) の状態から「ホイールダイヤル」を回して、「X. 2」を表示させます。
- ②「OKボタン」を押して、小数第1の位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、運転状態の値「0」「1」「2」を選択します。
- ④「OKボタン」を押して、変更した運転状態を確定して、小数第1位の値の点滅を終了させます。



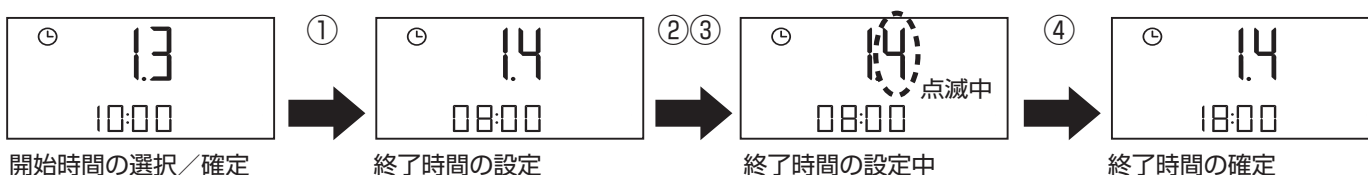
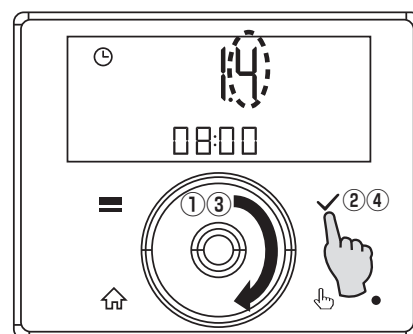
(4) プログラム運転の開始時間を設定

- ① (3) の状態から「ホイールダイヤル」を回して、「X. 3」を表示させます。
- ②「OKボタン」を押して、小数第1の位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、プログラム運転の開始時間を00:00～23:59の間で設定します。
- ④「OKボタン」を押して、プログラム運転の開始時間を確定して、小数第1位の値の点滅を終了させます。



(5) プログラム運転の終了時間を設定

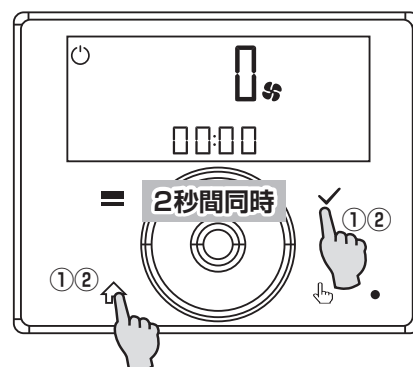
- ① (4) の状態から「ホイールダイヤル」を回して、「X. 4」を表示させます。
- ②「OKボタン」を押して、小数第1位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、プログラム運転の終了時間を00:01～24:00の間で設定します。
- ④「OKボタン」を押して、プログラム運転の終了時間を確定して、小数第1位の値の点滅を終了させます。
- ⑤「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



次の運転スケジュールの設定をする場合は、(2)～(5)に従って繰り返し設定を入力します。

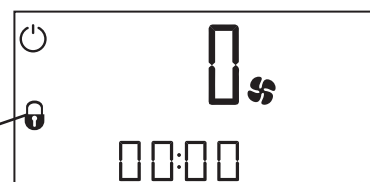
4-3. チャイルドロックモード

- ①「ホームボタン」と、「OKボタン」を同時に2秒間押すと、チャイルドロックモードのアイコンが点灯します。
- ②「ホームボタン」と、「OKボタン」を同時に2秒間押すと、チャイルドロックモードのアイコンが消灯し、チャイルドロックモードが解除されます。



- チャイルドロックモードのアイコンが点灯中は、解除以外の操作を受け付けなくなります。

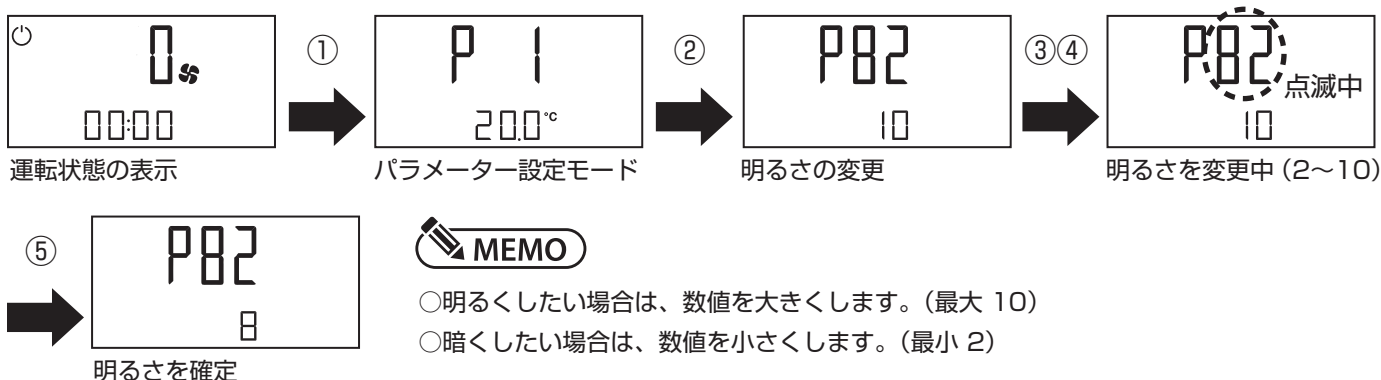
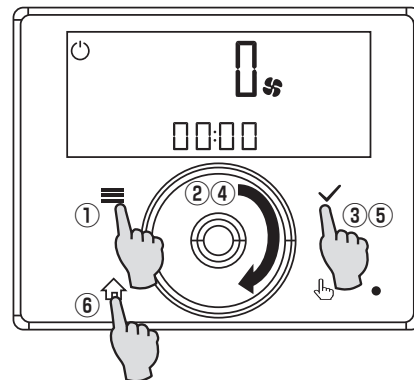
チャイルドロックモードのアイコン



4-4. ディスプレイの設定の変更

4-4-1. ディスプレイの明るさの変更

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P82」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「82」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して2～10でディスプレイの明るさを調整します。
- ⑤「OKボタン」を押して「82」を点灯させ、変更した数値を確認します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



4-4-2. バックライトの設定

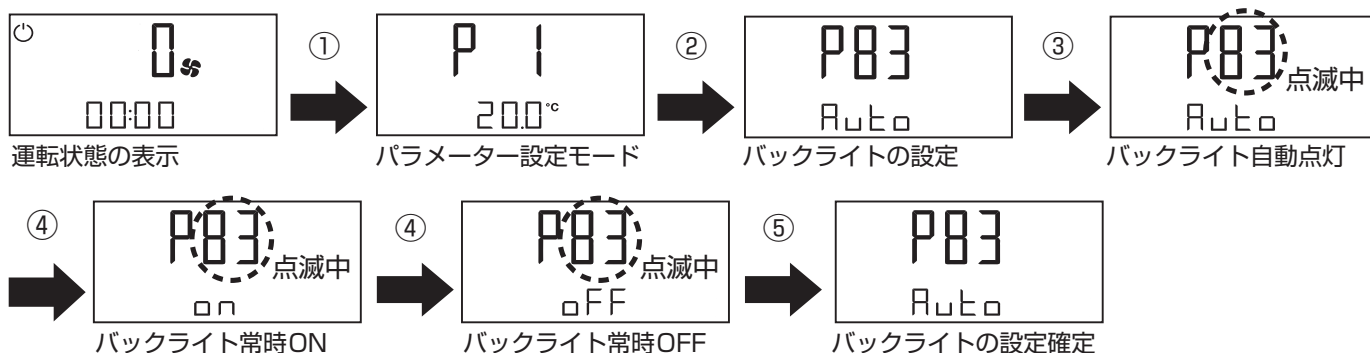
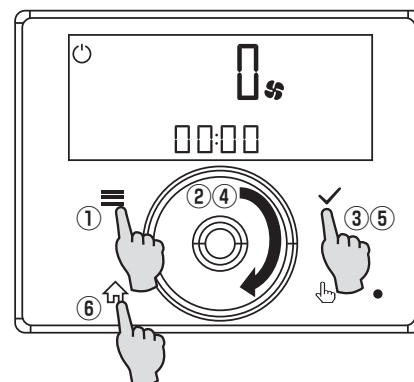
(1) 点灯状態の設定

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P83」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「83」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、Auto/On/Offから選択します。



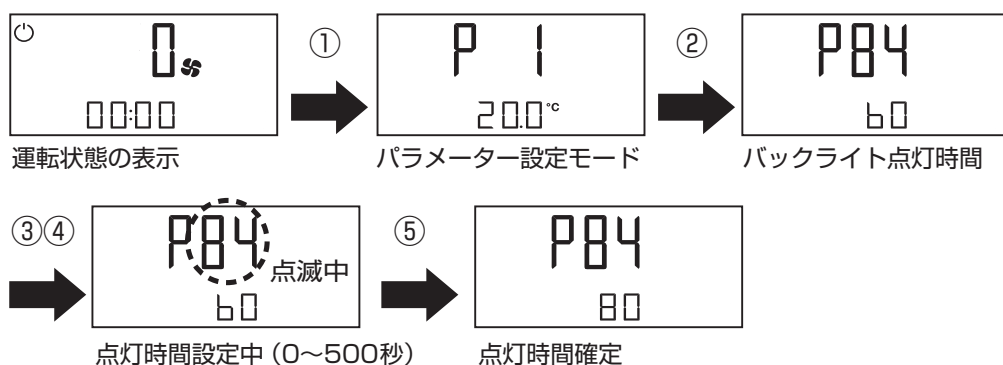
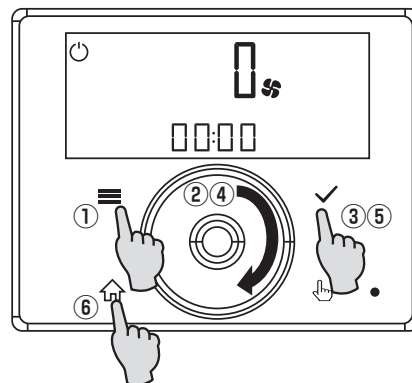
- Auto：無操作の状態で、P84で設定した時間表示部のバックライトが点灯します。
- On：常に表示部のバックライトが点灯します。
- Off：常に表示部のバックライトが消灯します。

- ⑤「OKボタン」を押して「83」を点灯させ、変更した設定を確認します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



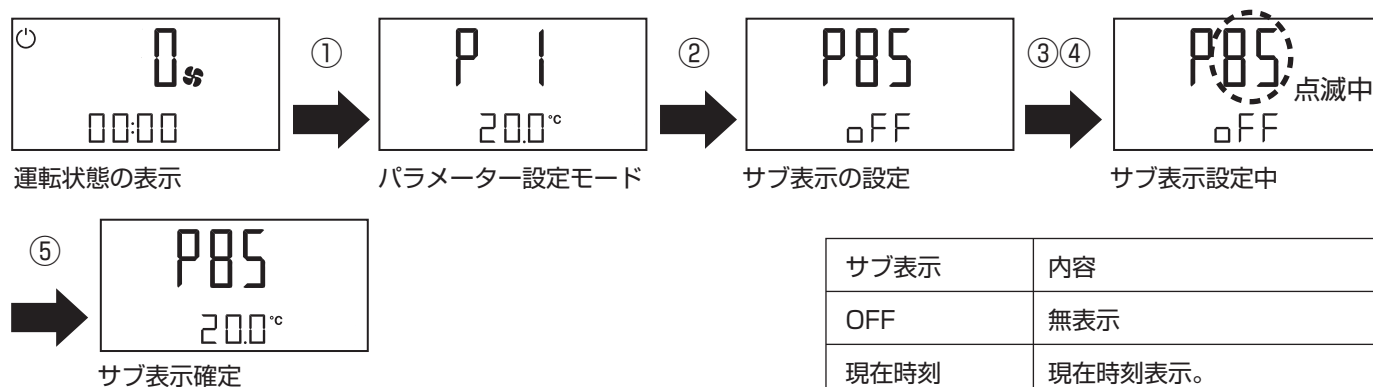
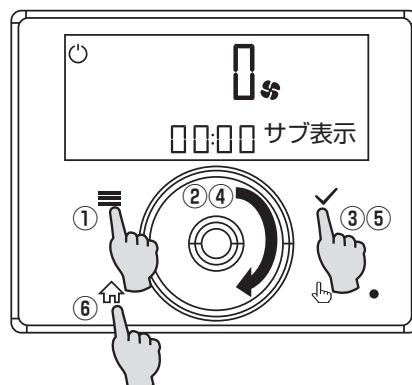
(2) 点灯時間の設定

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P84」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「84」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して10～500秒でバックライトが無操作状態で点灯する時間を設定します。
- ⑤「OKボタン」を押して「84」を点灯させ、変更した設定を確認します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



4-5. サブ表示の設定

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P85」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「85」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回してOFF / 現在時刻 / 設定温度 / 室内温度 / 室内湿度から選択します。
- ⑤「OKボタン」を押して「85」を点灯させ、変更した設定を確認します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



サブ表示	内容
OFF	無表示
現在時刻	現在時刻表示。
設定温度	「P1」で設定した温度表示。
還気温度 (RA)	住宅の還気温度を表示。
還気湿度 (RA)	住宅の還気湿度を表示。

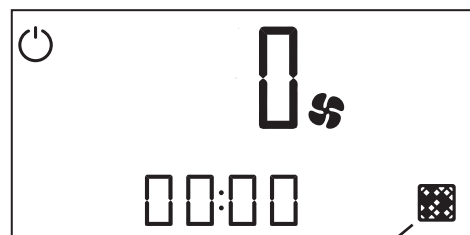
5. 日常の点検とお手入れ

通常は乾いた布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

ベンジン、シンナー、及びクレンザー、ナイロン製のたわし等の使用は、コントロールを傷めますので絶対にやめてください。

フィルター清掃のアイコンが点灯した場合は、5-1項に従ってフィルターの清掃、または交換を行なってください。

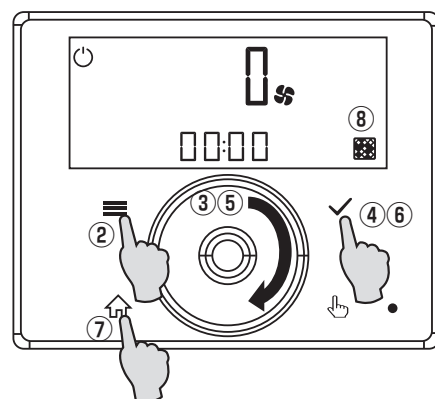


フィルター清掃のアイコン

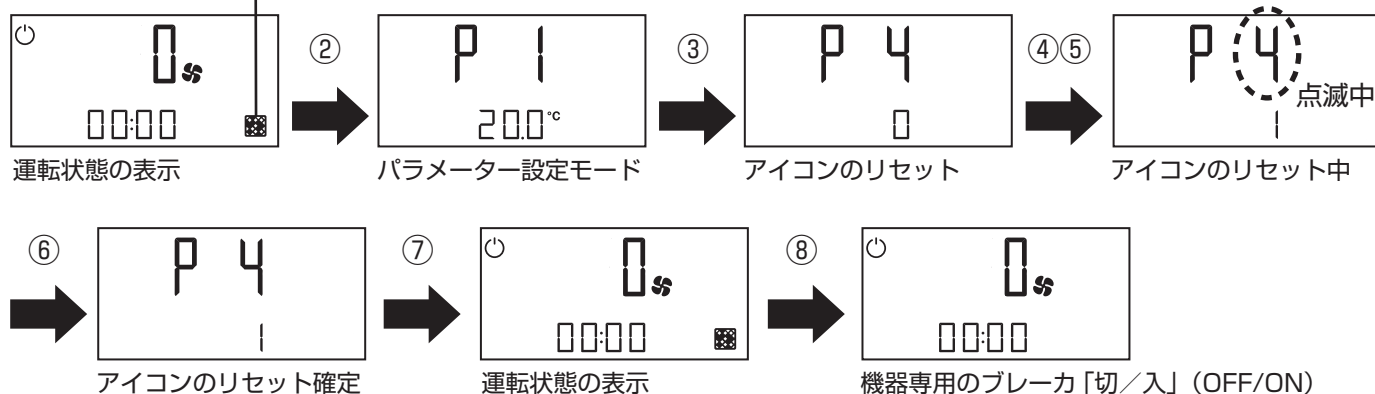
5-1. フィルター清掃と交換

5-1-1. フィルター清掃アイコンのリセット

- ① 機器専用のブレーカを「切」(OFF)にして、5-1-2項に従いフィルターの清掃、または交換を行ないます。
- ② 「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ③ 「ホイールダイヤル」を回して、「P 4」を表示させます。
- ④ 「OKボタン」を押して、「4」を点滅させます。
- ⑤ 「ホイールダイヤル」を回して「1」に設定します。
- ⑥ 「OKボタン」を押して「4」を点灯させ、変更した「1」を確定します。
- ⑦ 「ホームボタン」を押して、運転表示状態に戻ります。
- ⑧ 機器専用のブレーカを「入」(ON)にして、フィルター清掃アイコンが消えることを確認します。



フィルター清掃のアイコン



MEMO

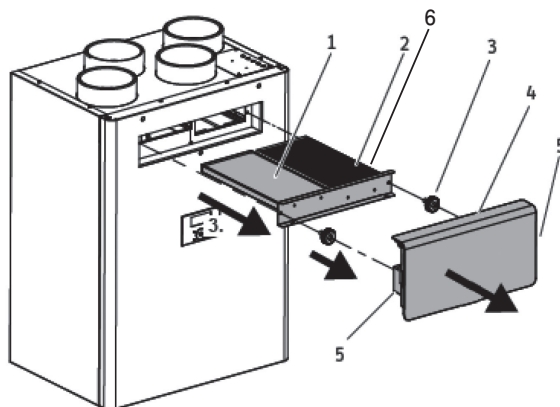
- フィルターの交換作業をせずにリセットのみを行なった場合は、アイコンが消えるまでに時間がかかる場合があります。

MEMO

- パラメーター設定モードから「ホイールダイヤル」を回し続けると、P.20「運転状態一覧」を確認することができます。

5-1-2. フィルターの清掃と交換方法

- ① 図中「4」のフィルタードア内側両側面の「5」の凹み（フィルタードアロックタブ）を内側に向けて押しながら、図中「4」のフィルタードアを手前に引いて外します。
- ② 図中「3」の固定ノブ2個を反時計回りに回して外します。
- ③ 図中「6」のフィルターカセットを手前に引いて外します。
- ④ 図中「1」「2」のフィルター表面の汚れを掃除機等で吸い取ってください。
- ⑤ 図中「1」「2」のフィルターを④に従い清掃するか、交換し逆手順で元の状態に戻します。
- ⑥ 5-1-1項に従い、フィルター清掃のアイコンを消します。



MEMO

- 図中「1」は還気（RA）用のG4フィルター
- 図中「2」は外気（OA）用のM5フィルター

✓ ご注意

- 1年に1回はフィルターの交換を行なってください。
- フィルターを水で洗わないでください。また、水に浸けないでください。
- 5-1-2項を実施前に必ず5-1-1項の作業を行なってください。

5-1-3. 交換用フィルターのインターネットサイトからの購入について

機器本体の交換用フィルターは、右図のQRコードからのサイト、または下記のアドレスのサイトから購入することができます。

「<http://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/>」



📝 おねがい

- 必ずご使用になっている機器をご確認の上、その機器に対応した交換用フィルターをご購入ください。

5-2. 住宅内の給排気グリル、屋外フードの清掃

- 各給排気グリル、または屋外フードの取扱説明書に従い清掃してください。
- 外気温度が低下している場合は、機器本体に結露が発生する場合があります。結露が発生した場合は、乾いた布等で吹いてください。

1) 給排気グリルが清掃されていないと下記の問題が発生する可能性があります。

住宅内で十分な換気がされない。
機器の消費する電力が大きくなります。
機器の動作音が大きくなります。

2) 屋外フードが清掃されていないと下記の問題が発生する可能性があります。

住宅内で十分な換気がされない。
機器の消費電力が大きくなります。
機器の動作音が大きくなります。

5-3. 専門業者による定期清掃

- お買い上げより3年を目処に熱交換エレメント等の定期清掃を行なうことで、LWZシリーズを永くご利用いただくことが可能になります。
- お買い上げより10年で、必ず専門業者による定期点検を受けてください。

6. 故障かな?と思ったら

現 象	確認項目	処置方法	参照ページ
OFFが点滅している。	設定	P28の設定をOFFからOnに変更します。	P. 20 9-1 P. 31 5-2
ファンが停止している。 (空気が流れない。)	ブレーカ	ブレーカを「入」(ON)にします。	——
	サブ表示	EXXXと表示が出ている場合は表示内容をメモした上で、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 5 3-2 P. 18 7
	設定風量	除湿運転に設定されている場合は、除湿運転以外に設定します。	P. 7 4-1
	フード	給排気の屋外フードを清掃します。	——
	グリル	給排気のグリルを清掃します。 開口が閉じている場合は、開きます。	——
操作ができない。	チャイルドロック	コントローラのチャイルドロックを解除します。	P. 12 4-3
	手の乾燥	手が乾燥した状態ですと、コントローラの操作を認識できない場合があります。一度、手を洗う等してから操作してください。	——
室内で結露が発生。	コントローラ	ホイールダイヤルで通常運転、またはパーティーモードを利用して風量を増やしてください。	P. 7 4-1
	給排気グリル	室内の給排気グリルが閉じていないか確認してください。	——
風量が少ない。	コントローラ	ホイールダイヤルで除湿運転 → 弱運転 → 通常運転と大きくします。	P. 7 4-1
風量が多い。	コントローラ	ホイールダイヤルで通常運転 → 弱運転 → 除湿運転と小さくします。	P. 7 4-1
表示が消えている。	ブレーカ	ブレーカが「入」(ON)であることを確認します。	——
エラー表示が出ている。	コントローラ	EXXXと表示が出ている場合は表示内容をメモした上で、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 5 3-2
異音がする。	フィルター	フィルターを清掃してください。	P. 15 5-1
	屋外フード	屋外フードを清掃します。	——
	給排気グリル	給排気のグリルを清掃します。 開口が閉じている場合は、開きます。	——
機器から水が垂れる。	逆止弁	建築会社、または施工会社にご相談の上、ドレン配管上の逆止弁を清掃してください。	——
	ダクト接続部	建築会社、または施工会社にご相談ください。	——

上記で改善しない場合は、再度、機器専用のブレーカを「入／切」(ON/OFF)し状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

次の場合は、故障ではありません。

現 象	原 因	参照ページ
厳冬期に電気代が高くなる。	機器の凍結防止用のプレヒーターが働いているためで異常ではありません。	——
風量を大きくすると、機器からの音が大きくなる。	風量を大きくするために、ファンの回転数を多くしているためで異常ではありません。	——
設定変更後に、通常と異なる動きをし始めた。	設定を確認しなおしてください。 変更した内容をお忘れの場合は、初期設定に戻してください。	取付説明書 P. 32 5-3

7. 点検および修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、P.17「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

TEL: 044-540-3203

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧くださいの上、次の項目をお知らせください。

- ① 機種名 : 銘板ラベルに併記
- ② 製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の具体的内容 : ファンが回らない等の症状、及びご使用条件
- ④ お取付け年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、フィルター等の消耗品を除き、保証書の記載に内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。



おねがい

- お客様で自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、及びダクトの配管工事、ドレン排水管工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

8. 仕様

型 名		LWZ-280	LWZ-280JE
電 源		200V 50/60Hz	
寸 法	幅 (mm)	997	
	高さ (mm)	690	
	奥行 (mm)	534	
最大風量 (m³/h)		350	
消費電力 (W)		134	
最大電流 (A) ※2		7.30	
プレヒーター消費電力 (W) ※1		1130	
プレヒーター最大電流 (A) ※1		5.65	
騒音 (dB)	280m³/h 時	48	
	350m³/h 時	55	
質量 (kg)		78	80
ダクト接続口径		φ160 / φ180	
ドレン管接続口径		φ22	—
換気方式		顕熱交換式	全熱交換式
有効換気量		97	
熱交換効率 (%)	顕熱交換	94	89
	全熱交換	—	76
周囲温度	最低温度 (°C)	15	
	最高温度 (°C)	35	
使用温度	外気温度 (°C)	-25~60	
	室内温度 (°C)	15~35 / 24°C以上 (夏期、室内冷房時)	
フィルター	外気側	M5クラス	
	還気側	G4クラス	

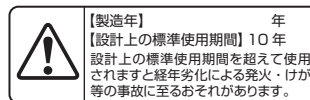
※1：プレヒーターのヒーター容量です。夏期／中間期は、通常通電しません。

※2：最大電流は、プレヒーター使用時です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

＜本体への表示内容＞

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するため
に電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



＜設計上の標準使用期間とは＞

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（下表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支
障なく使用することができる標準的な期間です。

本機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし J I S C9921-2 に基づいて右記の想定時間を用いて
算出したもので、無償保証期間とは異なります。

○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件 J I S C9921-2 による

環境条件	電圧	単相200V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20°C	J I S C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間／年	

9. パラメーター設定モード一覧

9-1. パラメーター一覧

表示	項目	初期値	単位	最小値	最大値	備考
P 1	設定室温	20	℃	5	28	バイパス動作時の給気温度設定
P 2	パーティーモードの動作時間の設定	30	分	1	240	パーティーモードの動作時間
P 3	バイパスモード	2	—	0 / 1 / 2 / 3		0 : バイパス停止 1 : バイパス常時オープン 2 : 給気温度 (OA) 基準バイパス動作 3 : 還気温度 (RA) 基準バイパス動作
P 4	フィルター清掃アイコン	0	—	0	1	「1」設定時にフィルター清掃アイコン消去
P28	機器動作	On	—	On / OFF		On : 機器が動作 OFF : 機器が停止
P80	曜日の設定	—	—	1	7	1 : 月曜日 2 : 火曜日 3 : 水曜日 4 : 木曜日 5 : 金曜日 6 : 土曜日 7 : 日曜日
P81	現在時刻の設定	—	—	00 : 00	23 : 59	—
P82	ディスプレイの明るさ	10	—	2	10	2 : 暗い → 10 : 明るい
P83	点灯状態の設定	Auto	—	Auto / On / OFF		Auto : 一定時間で点灯 On : 常時点灯 OFF : 常時消灯
P84	点灯時間の設定	60	秒	10	500	P83のAutoの点灯時間設定
P85	サブ表示の設定	OFF	—	—		OFF : サブ表示なし Time : 現在時刻表示 Set room temperature : 設定室温 Extract air temperature : 還気温度 (RA) Extract air humidity : 還気湿度

9-2. 運転状態一覧

表示	項目	単位	表示	項目	単位
I 1	バイパスの動作状態確認	—	I 71	エラー記録	—
I 2	還気温度 (RA)	℃	I 72	エラー記録	—
I 3	還気の相対湿度 (RA)	%	I 73	エラー記録	—
I 4	フィルターライフ	h	I 74	エラー記録	—
I 5	機器のソフトウェアのバージョン	—	I 75	エラー記録	—
I 6	機器のソフトウェアのパッチ	—	I 76	エラー記録	—
I 7	機器のシリアル番号	—	I 77	エラー記録	—
I 8	プログラムのバージョン	—	I 78	エラー記録	—
I 70	エラー記録	—	I 79	エラー記録	—



○通常使用しません。

STIEBEL ELTRON

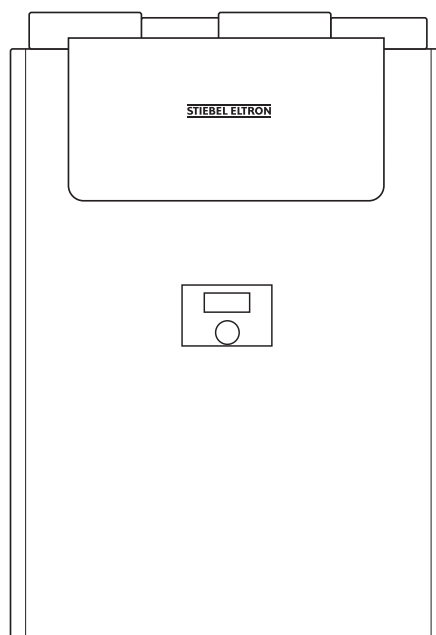
熱交換換気システム

取付説明書

(保証書付)

型 名…… ●LWZ-280

●LWZ-280JE



取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに本書のP. 22「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止



絶対に改造はしないでください。



付属の電源ケーブルを外さないでください。



取り外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。



200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



機器は、屋外や、湿気の多い場所、浴室、並びにP. 19「8. 仕様」に記載の周囲温度の範囲外になるような環境下には設置しないでください。



床面に設置するのは、絶対にお止めください。



機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



外気の取り入れ口は、燃焼ガスや住宅の排気を吸い込む位置や、積雪等で埋もれる位置には設けないでください。



電源ケーブル先端にコンセントプラグを使用しないでください。



機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。

	前面パネル	天板パネル	左面パネル	右面パネル	下面パネル
離隔距離	700mm以上	400mm以上	50mm以上	50mm以上	400mm以上

注意



メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの壁材に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板等が電氣的に接触しないよう取り付けてください。



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。



電源ケーブルをジョイントボックス内で弛ませないでください。

指示



電源ケーブルは、屋内配線と直結してください。



機器はP. 27「3-1. 機器の固定」に記載の離隔距離を守って設置してください。



機器がしっかりと固定されていることを確かめてください。



電源仕様、定格電流、及び消費電力を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しい配線を行なってください。



機器専用のブレーカを1台設置してください。



アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。



電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。



機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡しをせず、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。



機器の前面には、必ずフィルター交換と、機器本体の点検を行なえるスペースを設けてください。

注意



禁止



設置前の機器は、雨水が当たる場所や雪上、氷上に置かないでください。



機器の天板に物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。



ドレン配管は、二重トラップにしないでください。



LWZ-280JEのRAの吸気口を浴室や、水蒸気が発生する場所に設けないでください。



機器はフィルター清掃が不可能な高所には設置しないでください。



次の様なダクト工事はしないでください。(風量の低下や異常音発生、結露等の原因になります。)

- | | |
|----------------|------------------------------------|
| ①極端な曲げ。 | ⑦O A、E Aの配管に非断熱ダクトを使用する。 |
| ②多数の曲げ。 | ⑧断熱範囲外に露出するS A、R Aの配管に非断熱ダクトを使用する。 |
| ③急激なしぼり。 | ⑨O Aの配管先端を、屋外の排気口や排ガスが発生する場所に設置する。 |
| ④ダクト接続部そばでの曲げ。 | ⑩O Aの配管先端を、池や湖等の水場に面した壁面に設置する。 |
| ⑤ダクトを弛ませる。 | ⑪ダクト接続部に気密テープをまかない。 |
| ⑥ダクトを固定していない。 | ⑫ダクトを他の機器の給気に直結する。 |



ドレン水の凍結による水漏れ防止のため、屋外へのドレン水の排水や、ドレン配管の露出を行なわないでください。(LWZ-280のみ)



機器の内部部品や交換用部品等を他の電気機器には使用しないでください。



指示



機器は、床に対して垂直になるように設置してください。



換気計算に基づいて選定した機器を設置してください。



機器は、必ず機器の質量に耐えられる補強された物に固定してください。



機器は、居室(寝室)等の天井や床下への設置は避けてください。



ドレンの配管工事は、横引き管に10%以上の勾配を必ずつけてください。(LWZ-280のみ)



ドレンの配管には、必ずトラップを設け、機器内部の負圧が原因となる逆流を防止してください。(LWZ-280のみ)



ドレン配管上のトラップは、清掃できるようにしてください。(LWZ-280のみ)



LWZ-280JEのドレン接続口は、必ず封止してください。



共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により2mの鋼板立ち上がりダクトを取り付けるか、煙逆流防止ダンパー、及びその点検口を必ず設けてください。



ダクト配管は、機器から下り勾配になるように取り付け、断熱処理を確実に行ってください。



給排気ダクトの先端には、雨水等の侵入を防ぐための屋外フード等を取り付けてください。



海塩粒子等の吸い込みによる機器の著しい腐食を避けるため、海風の当たらない場所に外気(O A)取り入れ口を設けてください。



地区計画等で指定がある場合や、防火区画を貫通する場所には防火ダンパーを設けてください。



気密は経年劣化の少ないテープ、またはシール等を使用してください。



取り付けの際は肌の露出を避け、作業用手袋、保護メガネ等を着用してください。(板金部品で怪我をする、ダクトの断熱材に使用されているグラスウール等で皮膚が刺激されることがあります。)

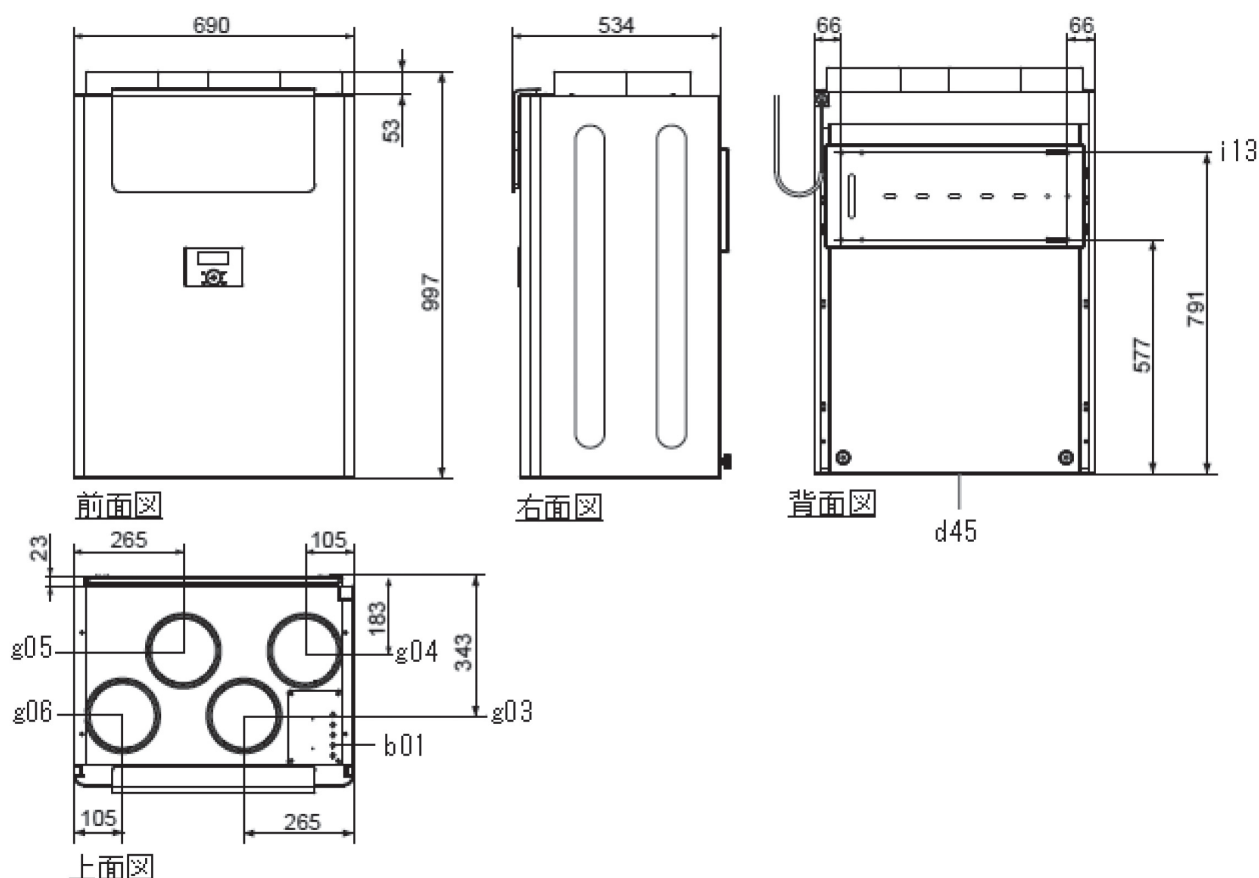


仕上げ材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等にはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。

- ❗ 設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
- ❗ 機器運転中は、機器にフィルターカセットを必ず正しい配置と向きで固定した状態で使用してください。
- ❗ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ❗ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ❗ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようお願いしてください。

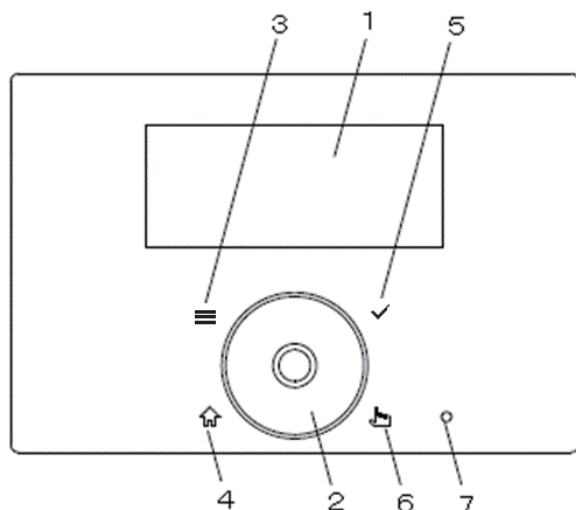
2. 各部のなまえと外形寸法

2-1. 機器の各部のなまえ



図番	名称	図番	名称
b01	制御ケーブル引き込み口	g05	還気接続口 (RA)
d45	ドレン接続口	g06	給気接続口 (SA)
g03	外気接続口 (OA)	i13	壁固定位置
g04	排気接続口 (EA)		

2-2. コントローラの各部のなまえ



図番	名称	図番	名称	図番	名称
1	表示部	4	ホームボタン	7	パーティーモードランプ
2	ホイールダイヤル	5	OKボタン	—	—
3	MENUボタン	6	パーティーモードボタン	—	—

2-3. 付属部品



図-1 ドレン管



図-2 下部スペーサー



図-3 スプリングクランプ



図-4 取扱取付説明書

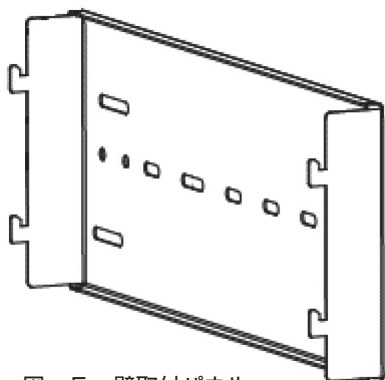


図-5 壁取付パネル



図-6 カバープラグ (LWZ-280JEのみ)

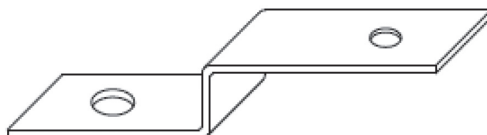


図-7 固定金具



図-8 LWZ耐震補強金具用
ゴムワッシャー



図-9 耐震補強金具用ビスM5×30 10本



図-10 耐震補強金具用ワッシャーM5×16×1.0 10枚

3. 機器の設置

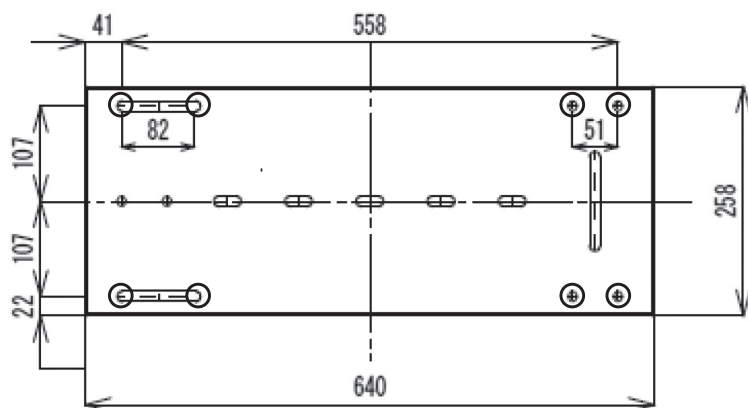
3-1. 機器の固定

①壁取付パネルを、機器から外します。

②壁取付パネルを、機器の質量に耐える補強を行なった壁面に突起が上になるようにφ5mm以上のボルト、または一種タッピングネジ8本で水平になるように固定します。

✓ご注意

- 木ネジは使用しないでください。
- 離隔距離を守ってください。



壁取付パネル

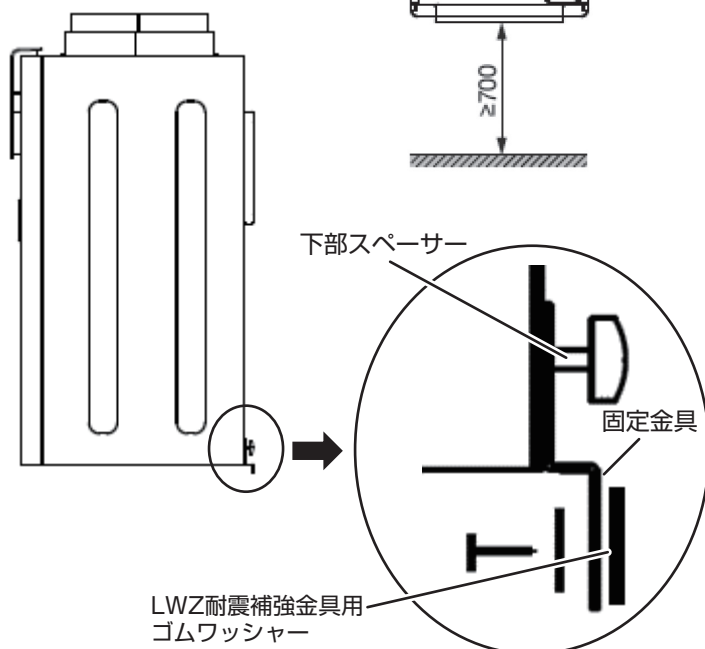
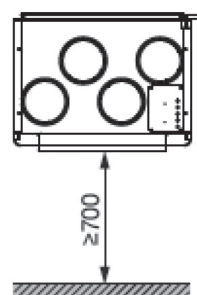
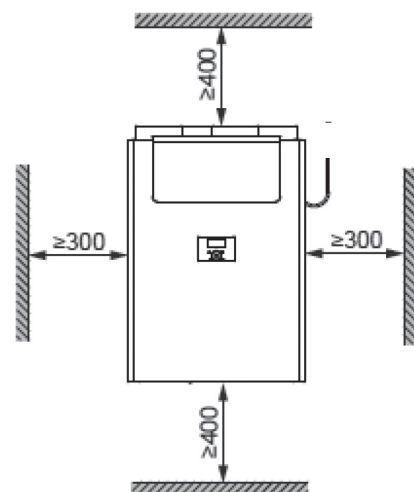
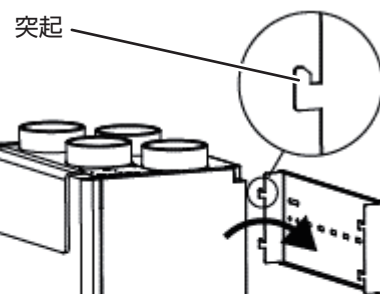
✎MEMO

- 機器は78kg (LWZ-280) / 80kg (LWZ-280JE) の質量があります。作業者の安全に気を付けて作業を行なってください。

- ③下部スペーサーに固定金具のφ8の穴を通します。
- ④③の作業を行なった下部スペーサーを機器に背面下部に固定します。
- ⑤機器を壁取付パネルに引っ掛けます。
- ⑥固定金具とLWZ耐震補強金具用ゴムワッシャーを付属のワッシャーとネジで固定します。

✎MEMO

- 固定金具は、地震の際に縦揺れで壁取付パネルが機器から外れないようにする金具で、機器には引っかかっているだけで固定されません。

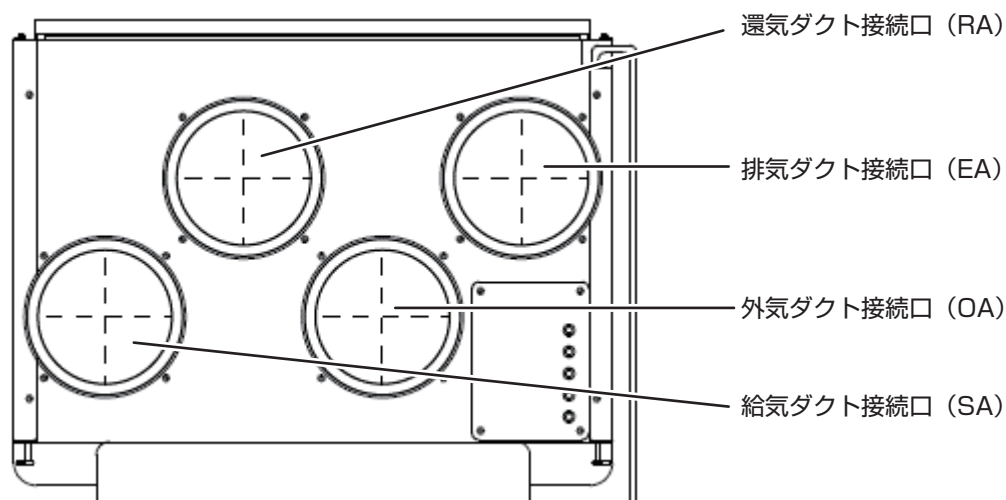


LWZ耐震補強金具用
ゴムワッシャー

3-2. ダクト配管

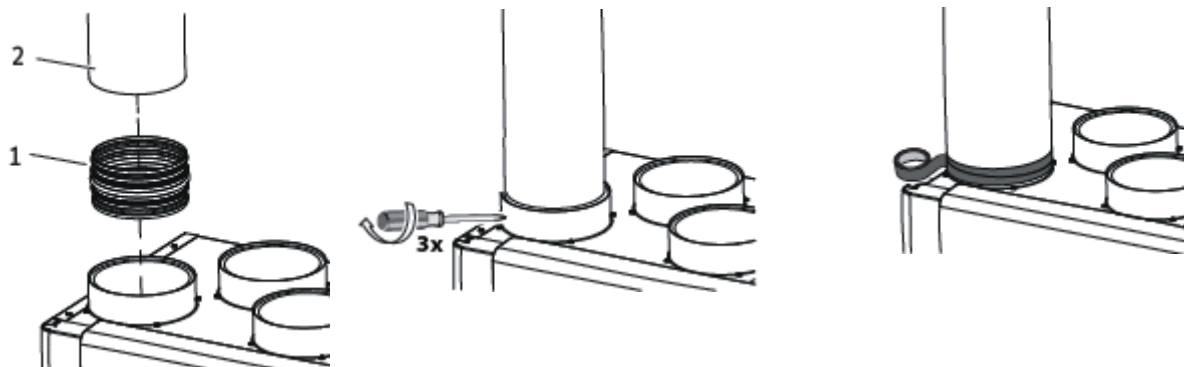
3-2-1. ダクト接続口

①所定のダクトを機器のダクト接続口に接続します。



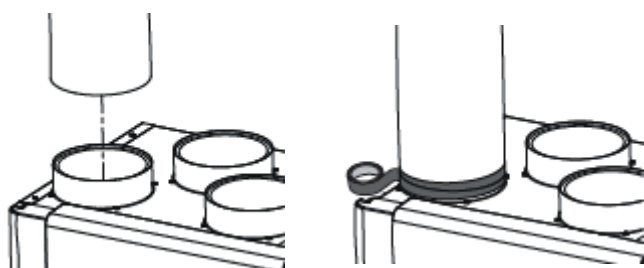
3-2-2. $\phi 160$ ダクトを使用する場合

- ① $\phi 160$ ダクトを使用する場合は、付属コネクタ（図中「1」）を機器のダクト接続口に差し込みます。
- ② $\phi 160$ ダクトを付属コネクタに接続します。
- ③付属コネクタを $\phi 4$ のネジ3本以上で機器に固定します。
- ④ $\phi 160$ ダクトを気密テープで機器にしっかりと固定します。（必要に応じて、ダクトバンドを使用してしっかりと固定します。）



3-2-3. $\phi 200$ ダクトを使用する場合

- ① $\phi 200$ ダクトを機器のダクト接続口に接続します。
- ② $\phi 200$ ダクトを気密テープで機器にしっかりと固定します。
（必要に応じて、ダクトバンドを使用してしっかりと固定します。）



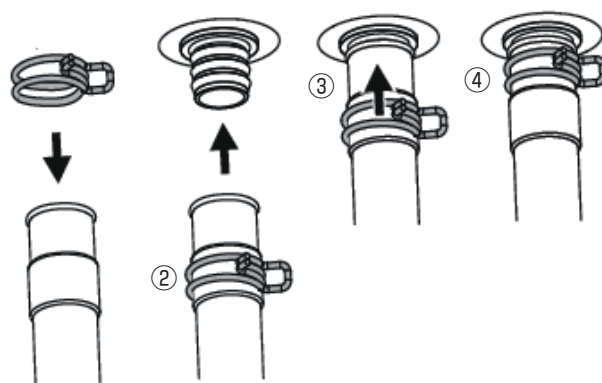
3-3. ドレン配管 (LWZ-280のみ)

3-3-1. LWZ-280の場合

- ① ドレンホースを必要な長さに切断します。
- ② 付属のドレンホースの太い部分に付属のスプリングクランプを差し込みます。
- ③ ドレンホース先端を機器下部のドレン接続口に差し込みます。

MEMO

- 必ず奥まで差し込んでください。
- ドレンホースの切断部分ではなく、ドレンホースの先端を差し込んでください。



- ④ スプリングクランプをドレンホースの先端にずらし、ドレンホースを固定します。

以下は、日本スティーベル (株) のオプション品を使用した場合の処理です。

- ⑤ ドレンホースの切断した側をドレンホースジョイントに接続します。

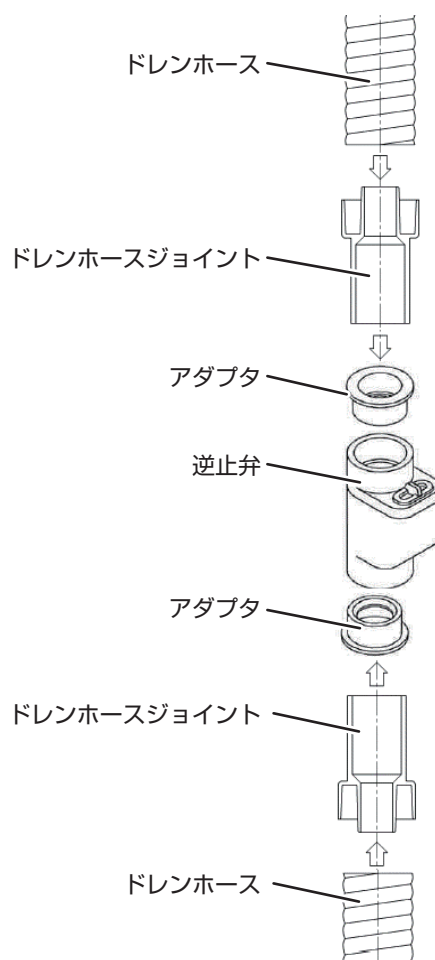
- ⑥ 逆止弁上部 (機器側) にアダプタを接続します。

- ⑦ 逆止弁上部に接続したアダプタにドレンホースジョイントを差し込んで固定します。

- ⑧ 逆止弁下部 (屋内排水管側) にアダプタを接続します。

- ⑨ ドレンホースの切断した側をドレンホースジョイントに接続します。

- ⑩ 逆止弁下部に接続したアダプタにドレンホースジョイントを差し込んで固定します。

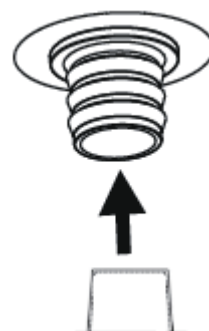


✓ ご注意

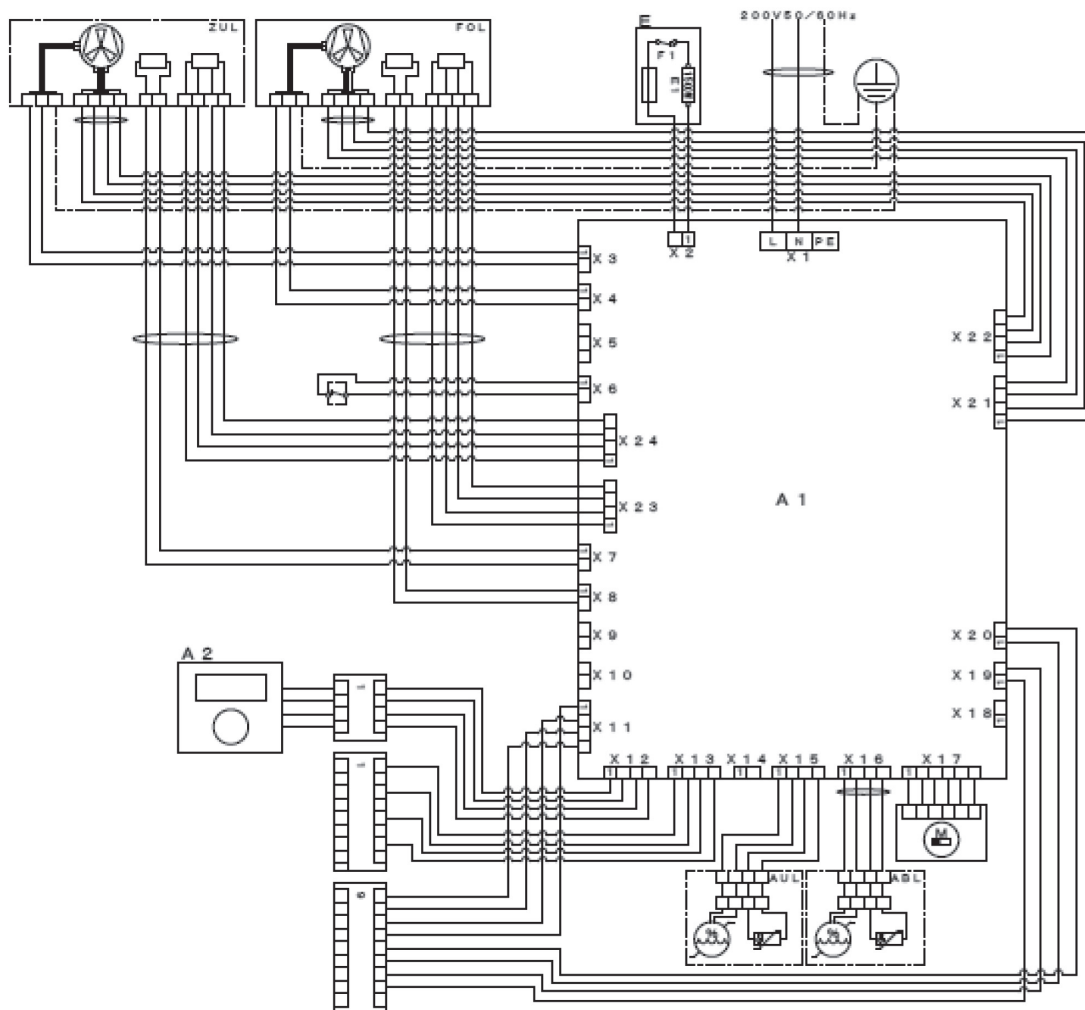
- 逆止弁は、右図のように床面に対して垂直に設置してください。

3-3-2. LWZ-280JEの場合

- ① ドレン配管にカバープラグを差し込み固定します。



4. 電気配線



- | | |
|------------------------|-------------------------|
| A2：基板 | X13：外付けコントローラ用コネクタ |
| A2：コントローラ | X15：給気(OA)湿度センサーコネクタ |
| E：プレヒーターユニット | X16：排気(RA)湿度センサーコネクタ |
| E1：ヒーターエレメント | X17：バイパスダンパー用モーターコネクタ |
| F1：過昇温防止器 | X19：スイッチングコネクタ |
| M：バイパスダンパー用モーター | X20：集中制御用接点端子コネクタ |
| X1：電源コネクタ | X21：排気(RA)ファン制御ケーブルコネクタ |
| X2：プレヒーターコネクタ | X22：給気(OA)ファン制御ケーブルコネクタ |
| X3：給気(OA)ファン電源ケーブルコネクタ | X23：排気(RA)側圧力センサーコネクタ |
| X4：排気(RA)ファン電源ケーブルコネクタ | X24：給気(OA)側圧力センサーコネクタ |
| X6：フロースイッチコネクタ | ABL：屋外への排気(EA) |
| X7：給気(OA)温度センサーコネクタ | AUL：屋外からの給気(OA) |
| X8：排気(RA)温度センサーコネクタ | FOL：屋内からの排気(RA) |
| X11：12Cbus端子台用コネクタ | ZUL：屋内への給気(SA) |
| X12：コントローラ用コネクタ | |

①ジョイントボックス内で屋内配線と、機器の電源ケーブルを接続します。

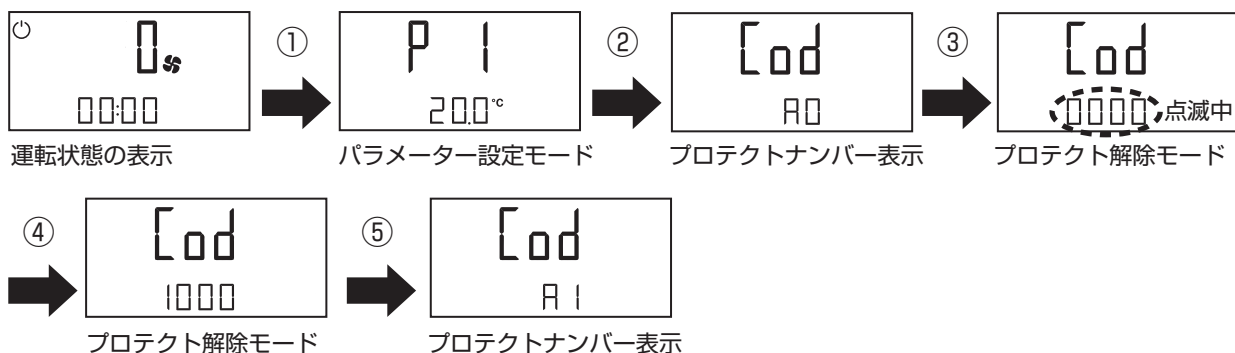
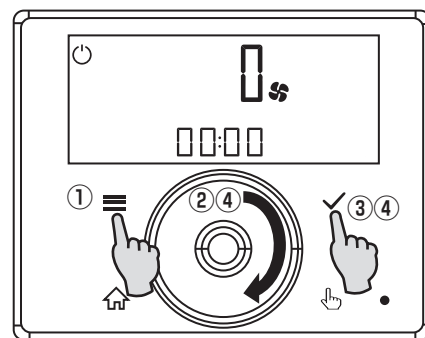
✓ ご注意

- 屋内のアース線を機器の電源ケーブルに接続しないようにしてください。
- 過電圧カテゴリⅢで完全遮断をする全極の接点分離を配線規則に従って固定配線に設けてください。

5. 設定変更

5-1. 施工者用設定モードの変更方法

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、メイン表示に「Cod」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、サブ表示の「0000」の左端の「0」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回し、「OKボタン」で4桁の数値を左から1桁ずつ確定させながら、サブ表示の数値を「1000」に設定します。
- ⑤サブ表示が「A0」から「A1」に変わり、施工者用設定モードのプロテクトが解除されます。

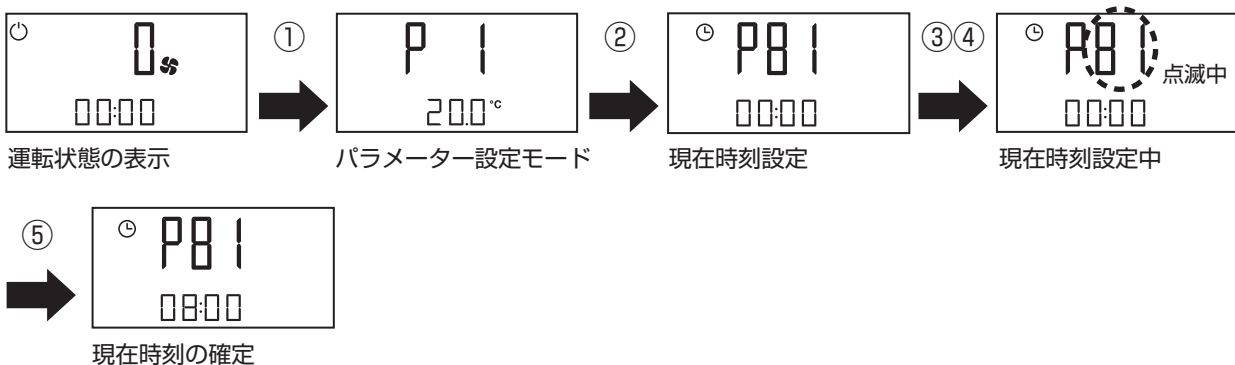
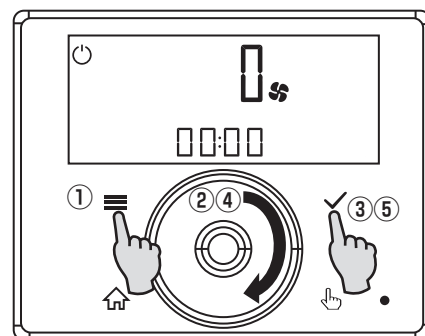


MEMO

○「ホームボタン」を押すと、運転状態の表示に戻り、施工者用設定モードの変更ができなくなります。

5-2. 各パラメーターの変更方法

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「PXX」を表示させます。
(下図は、P81 現在時刻設定の表示)
- ③「OKボタン」を押して、「PXX」表示の数値を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、サブ表示の数値を変更します。
- ⑤「OKボタン」を押して、変更した数値を確定させます。



MEMO

○パラメーター設定モードから「ホイールダイヤル」を回し続けると、P.34 5-4「施工者用設定モードの運転状態一覧」を確認することができます。

5-3. 施工者用設定モードのパラメーター一覧

表示	項目	初期値	単位	最小値	最大値	備考
P 1	設定室温	20	℃	5	28	バイパス動作時の給気温度設定
P 2	パーティーモードの動作時間の設定	30	分	1	240	パーティーモードの動作時間
P 3	バイパスモード	2	—	0 / 1 / 2 / 3		0 : バイパス停止 1 : バイパス常時オープン 2 : 給気温度 (OA) 基準バイパス動作 3 : 還気温度 (RA) 基準バイパス動作
P 4	フィルター清掃アイコン	0	—	0	1	「1」設定時にフィルター清掃アイコン消去
P 5	ファン制御	0	—	0	1	0 : 定流量制御 1 : 定圧制御
P 6	除湿運転設定風量	60	m³/h	40	175	除湿運転
P 7	弱運転設定風量	140	m³/h	60	300	弱運転
P 8	通常運転設定風量	200	m³/h	60	350	通常運転
P 9	パーティーモード設定風量	260	m³/h	60	350	パーティーモード
P 14	給気量調節設定	0	—	-100	100	給気量を変更できます。
P 15	除湿運転設定	1	h	1	24	除湿運転停止から再開までのインターバルを設定します。
P 16	湿度計測時間設定	5	分	1	15	湿度計測時間
P 17	湿度設定	65	%	5	95	設定湿度以上になると除湿運転になります。
P 18	プレヒーター停止温度設定	4	℃	0	15	設定温度以上になるとプレヒーターが停止します。
P 22	プレヒーター動作設定	1	—	0	1	0 : プレヒーター設定 OFF 1 : プレヒーター設定 ON
P 23	凍結防止設定	2	—	0 / 1 / 2 / 3 / 4		0 : 給気温度 (OA) に従って動作 1 : 未使用 2 : 給気温度 (OA) が16.5℃以下にならないように動作 3 : 未使用 4 : 未使用
P 24	バイパス有効温度	10	℃	5	15	外気温度が設定温度以上の場合にバイパスが動作します。
P 25	バイパス停止温度	8	℃	5	15	外気温度が設定温度以下になるとバイパスが停止します。
P 26	バイパス用ヒステリシス	2	K	0	5	バイパス用補助温度設定
P 27	バイパス用ディファレンシャル	2	℃	0	5	バイパス用動作温度条件設定
P 28	機器動作	On	—	On / OFF		On : 機器が動作 OFF : 機器が停止
P 30	プレヒーター動作温度設定	-3	℃	-10	5	設定温度以下になるとプレヒーターが動作します。
P 31	湿度制御機能	0	—	0	1	0 : 湿度制御機能OFF 1 : 湿度制御機能ON
P 32	外気結露防止機能	0	—	0	1	0 : 外気結露防止機能OFF 1 : 外気結露防止機能On

表示	項目	初期値	単位	最小値	最大値	備考
P33	外気結露防止機能 オフセット	0	℃	-5	5	
P70	エラーリスト削除	0	—	0	1	「1」設定時にエラーリストを削除します。
P80	曜日の設定	—	—	1	7	1：月曜日 2：火曜日 3：水曜日 4：木曜日 5：金曜日 6：土曜日 7：日曜日
P81	現在時刻の設定	—	—	00：00	23：59	—
P82	ディスプレイの明るさ	10	—	2	10	2：暗い → 10：明るい
P83	点灯状態の設定	Auto	—	Auto / On / OFF		Auto：一定時間で点灯 On：常時点灯 OFF：常時消灯
P84	点灯時間の設定	60	秒	10	500	P83のAutoの点灯時間設定
P85	サブ表示の設定	OFF	—	—		OFF：サブ表示なし Time：現在時刻表示 Set room temperature：設定室温 Extract air temperature：還気温度（RA） Extract air humidity：還気湿度

バイパス動作条件 P3=2の場合

条件：設定室温（P1）+P27（22℃）< 外気温度（OA）が2時間以上続いた場合
外気温度（OA）< 還気温度（RA）-P26（還気温度-2℃）
設定室温（P1）（20℃）< 還気温度（RA）

例）設定室温（P1）/P26/P27が初期設定の場合

バイパス動作条件 P3=3の場合

条件：設定室温（P1）+P27（22℃）< 還気温度（RA）を2時間以上続いた場合
外気温度（OA）< 還気温度（RA）-P26（還気温度-2℃）
設定室温（P1）（20℃）< 還気温度（RA）

例）設定室温（P1）/P26/P27が初期設定の場合

バイパス終了条件P3=2/P3=3共通

外気温度（OA）< P25（8℃）
還気温度（RA）-P26（還気温度-2℃）< 外気温度（OA）
還気温度（RA）< 設定室温（P1）（20℃）

例）設定室温（P1）/P25/P26が初期設定の場合

外気結露防止機能P32=1

外気が結露しないように下記の条件を満たした場合に機器を停止します。

60分停止、5分動作で継続するか確認。

外気温度（OA）> 還気温度（RA）
外気露点温度（OA）> 還気温度（RA）+P33

5-4. 施工者用設定モードの運転状態一覧

表 示	項 目	単位	表 示	項 目	単位
I 1	バイパスの動作状態確認	—	I 18	排気（E A）風量	m ³ /h
I 2	還気温度（R A）	℃	I 19	プレヒーター出力	%
I 3	還気の相対湿度（R A）	%	I 20	機器運転日数	日
I 4	フィルターライフ	h	I 21	ファン運転日数	日
I 5	機器のソフトウェアバージョン	—	I 22	還気圧力差	Pa
I 6	機器のソフトウェアパッチ	—	I 23	給気（S A）ファン回転数	rpm
I 7	基板のシリアル番号	—	I 24	排気（E A）ファン回転数	rpm
I 8	プログラムバージョン	—	I 70	エラー記録	—
I 9	外気温度（O A）	℃	I 71	エラー記録	—
I 10	給気温度（S A）	℃	I 72	エラー記録	—
I 11	排気温度（E A）	℃	I 73	エラー記録	—
I 12	外気湿度（O A）	%	I 74	エラー記録	—
I 13	還気露点温度（R A）	℃	I 75	エラー記録	—
I 14	外気露点温度（O A）	℃	I 76	エラー記録	—
I 15	給気（S A）ファン出力	%	I 77	エラー記録	—
I 16	給気（S A）風量	m ³ /h	I 78	エラー記録	—
I 17	排気（E A）ファン出力	%	I 79	エラー記録	—

5-5. エラーコード一覧

エラーコード	該当部品	現 象	対応方法
- - - -	なし	エラーなし	—
1	給気温度（S A）センサー ショートサーキット	給気温度（S A）異常	①センサーケーブル ②X 7コネクタ ③給気温度（S A）センサー 上記の確認
2	給気温度（S A）センサー 読み込み不良	給気温度（S A）異常	①センサーケーブル ②X 7コネクタ ③給気温度（S A）センサー 上記の確認
3	還気温度（R A）センサー ショートサーキット	機器停止	①センサーケーブル ②X 8コネクタ ③還気温度（R A）センサー 上記の確認
4	還気温度（R A）センサー 読み込み不良	機器停止	①センサーケーブル ②X 8コネクタ ③還気温度（R A）センサー 上記の確認
5	給気圧力センサー異常	最大風量で給気（S A） ファンを動作	①圧力検出管損傷 ②圧力センサー交換 ③圧力検出管交換 上記の確認
6	排気圧力センサー異常	最大風量で給気（E A） ファンを動作	①圧力検出管損傷 ②圧力センサー交換 ③圧力検出管交換 上記の確認
7	還気圧力センサー異常	定圧制御ができなくなり、 定流量制御に切り替わります。	①圧力検出管損傷 ②圧力検出管交換 ③設定モードP5を変更 上記の確認

エラーコード	該当部品	現 象	対応方法
8	還気（R A）湿度不検出	デフロスト運転ができなくなります。	①センサーケーブル ②還気温度（R A）センサー交換 上記の確認
9	外気（O A）湿度不検出	デフロスト運転ができなくなります。	①センサーケーブル ②還気温度（O A）センサー交換 上記の確認
10	還気温度（R A）センサー異常	自動バイパス運転ができなくなります。	①センサーケーブル 上記の確認
11	外気温度（O A）センサー異常	自動バイパス運転ができなくなります。	①センサーケーブル 上記の確認
16	フロースイッチ動作	ファン停止	①ドレン ②フロースイッチケーブル 上記の確認
101	給気（S A）ファン	速度未感知	①センサーケーブル ②PWM制御信号 ③速度信号 ④ファン交換 上記の確認
102	排気（E A）ファン	速度未感知	①センサーケーブル ②PWM制御信号 ③速度信号 ④ファン交換 上記の確認
201	時計通信なし	時計機能の停止	①基板交換 上記の確認
202	時計の信号なし	時計機能の停止	①基板交換 上記の確認
203	センサー電圧低下	パーティーモード停止 デフロスト運転停止 バイパスの自動制御停止	①電源電圧 ②X 1 5 / 1 6 / 2 3 / 2 4 コネクタ ③センサー交換 ④基板交換 上記の確認
204	給気ファン停止	給気温度（S A）が5℃以下に 低下したためファン停止	①プレヒーター 上記の確認

* 1 : 各種スイッチ、センサー等の位置については、本書には記載していません。

温度センサー仕様：P T 1 0 0 0

温度（℃）	抵抗値（Ω）	温度（℃）	抵抗値（Ω）	温度（℃）	抵抗値（Ω）
-30	882	0	1000	25	1097
-20	922	10	1039	30	1117
-10	961	20	1078	40	1155

6. 試運転

- ①給排気グリル、給排気フードが適切に施工されていることを確認します。
- ②ドレンが適切に配管されていること、フィルター交換作業ができることを確認します。
- ③機器の電源電圧を確認の上、機器専用のブレーカを「入」(ON)にして、P.7「4-1. 運転の開始」に従い運転を開始します。
- ④P.31「5. 設定変更」を参照して、施工者用設定モードのパラメーターP6～P9の値を変更します。
- ⑤各給排気グリルの風量を確認し、設計風量が確保できるよう各給排気グリルの開度を調節します。
- ⑥機器専用のブレーカを「切」(OFF)にします。
- ⑦下表の試運転確認表に試運転の記録を記入します。

検査日： 年 月 日

検査会社名						
検査担当者名						
設置機種						
電源電圧						
設定風量 (0.5回/h)						
項目	項目	確認内容			合否	
①	コントローラの表示	正常に表示される。				
②	運転状況の確認	異常な値が表示されていない。				
③	お部屋名	風量	設定風量	風向 (給気/排気)	合否※	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
				給気	排気	
		外壁 給気フード			給気	
		外壁 排気フード			排気	
項目	項目	確認内容			合否	
④	ドレン排水 (LWZ-280のみ)	ドレン水が流れる。				
⑤	エラーの有無	修理すべきエラーがない。				
⑥	電源	ブレーカの「入/切」で機器の運転/停止を切り替えることができる。				
備考						

※③の合否は、設定風量 ≤ 風量の場合が「合格」です。

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取り付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル(株)に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		型 名	LWZ-280		
	お名前			LWZ-280 JE		
お取扱い店	社名	印	取扱者	印	製造番号	— —
	〒					
	住所	電話 () —				
お取り付け日	年	月	日	保証期間	製品	お取り付け日から1年

機器はお取り付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取り付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈無料修理規定〉

1. お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
「お取り付け日」の記載がない場合、日本スティーベル(株)の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取り付け日」として起算します。
3. ご転居等、お取り付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - (A) 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - (B) 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - (C) お取り付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - (D) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - (E) 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
 - (F) 一般の建物以外(例えば車輦・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
 - (G) 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - (H) 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
 - (I) 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5. 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - (A) 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - (B) 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

TEL : 044-540-3203

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <http://www.nihonstiebel.co.jp>

■製造者
スティーベルエルترون

機器の仕様、外観、及び価格は予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。